



MOT/Phone POP-UP

操作・設定ガイド

1.56 版

株式会社バルテック

本書には本製品を正しくご利用いただく為の、接続・設置方法、注意・警告事項が記載されている為、お使いになる前に必ずお読みになり、方法や注意事項を十分ご理解いただいた上でご利用ください。本書は紛失しないように、大切に保管してください。

- ◆ 本書および本製品の一部または全部を無断で転載、複製、改変することはできません。
- ◆ 本書および本製品の内容は、改変・改良・その他の都合により予告無く変更することがあります。
- ◆ 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失・事業の中断・記録内容の変化・消失など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- ◆ 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ◆ 接続機器との組み合わせによる誤動作から生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ◆ 本書に記載されている会社名、製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

目次

1. はじめに.....	5
1-1. 概要	5
1-2. 動作環境	5
1-3. 注意事項	5
1-4. 構成ウィンドウ	6
2. インストール手順.....	7
2-1. アプリケーションのインストール.....	7
■ インストーラの起動.....	7
■ 必須コンポーネント（リベリカ JDK）をインストールする	9
■ MOT/Phone POP-UP のインストールを開始する	13
※ インストール後、正常に動作しない場合	15
3. アプリの起動・終了とメニュー説明	16
3-1. 起動と終了.....	16
■ 起動	16
■ 内線電話機の登録	16
■ 登録状態の確認.....	16
■ 終了	16
3-2. 再試行要求ダイアログ	17
■ 認証失敗.....	17
■ 認証要求.....	17
3-3. MOT/Phone POP-UP の各メニュー	18
4. 連動電話機別の設定	19
4-1. ソフトフォン（MOT/Phone Windows）と連動する.....	19
■ 一般設定.....	19
■ アカウント設定.....	20
4-2. 電話機と連動しない	22
■ 一般設定.....	22
■ アカウント設定.....	23
5. 設定画面の説明	25
5-1. [一般]タブ	25
■ 基本設定.....	26
■ 着信情報ウィンドウ設定	29
■ 外部連携先設定	31
5-2. [アカウント]タブ	38

■ アカウントの削除	39
■ 利用アカウントの切り替え	39
5-3. [FAX 機能]タブ	40
6. 着信時の動作	42
6-1. 着信情報ウィンドウ画面	42
6-2. 着信メッセージ画面	46
6-3. MOT/Cloud の電話受付画面	47
6-4. 外部 URL	48
6-5. 外部アプリケーション	48
6-6. 着信ポップアップのパターン	49
7. 顧客情報の新規登録	50
8. 電話帳機能	51
8-1. 電話帳画面	51
8-2. 連絡先を検索する	53
8-3. 電話帳から発信する	54
8-4. 電話帳メニュー	55
■ 連絡先を登録する	56
■ グループを登録する	57
■ MOT/PBX 電話帳を手動同期する	58
■ クラウド電話帳を手動同期する	58
■ 電話帳のエクスポート	59
■ 電話帳のインポート	60
① 電話帳形式「SAXA」を選択した場合	61
② 電話帳形式「ナカヨ」を選択した場合	62
8-5. 電話帳の自動同期	63
8-6. プロキシサーバを経由して電話帳情報を取得	64
9. 通話履歴の表示	65
9-1. 通話履歴ウィンドウ	65
9-2. 通話履歴のエクスポート	67
10. 端末登録状態の変更	70
10-1.現在の端末登録状態の表示・変更	70
11. ソフトウェアの更新	71
11-1.アップデート確認	71
11-2.最新バージョンにアップデート	71

12. ソフトウェアのバージョン情報表示.....	72
12-1.バージョン情報を表示する.....	72
13. FAX 送信機能.....	73
13-1.FAX 送信ウィンドウの表示	73
13-2.送信先 FAX 番号の入力方法	75
13-3.FAX の短縮番号を登録する	77
13-4.履歴から FAX を送信する	78
13-5.FAX 送付状を添付する	79
13-6.FAX を送信する	80
14. FAX 受信機能.....	82
14-1.自動受信を「する」でご利用の場合	82
14-2.自動受信を「しない」でご利用の場合.....	83
14-3.FAX の手動受信	84
15. FAX 送受信履歴	85
16. 仕様.....	86

1.はじめに

1-1. 概要

MOT/Phone POP-UP は、SIP 電話機(MOT/Phone)と MOT/PBX と連携して着信時に相手側の情報を簡易的に表示し、他のアプリケーションやサービスとの連携を行う為のソフトウェアです。

本説明書は、MOT/Phone POP-UP の機能と操作方法について説明します。

1-2. 動作環境

項目	機能説明
対応 OS	Windows10、Windows11
推奨スペック	プロセッサ : 1.5GHz 以上 RAM : 8GB 以上
JVM	Liberica JDK 8、11

1-3. 注意事項

- ・本説明書に記載された内容は、予告なく変更されることがございます。
- ・ゲストユーザーでは正常にご利用できません。ゲストユーザーでは利用しないで下さい。

1-4. 構成ウィンドウ

MOT/Phone POP-UP は以下のウィンドウで構成されます。

本説明書では、「**MOT/Phone POP-UP**」について説明いたします。



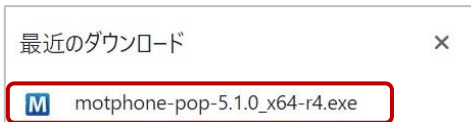
項目	機能説明
着信情報ウィンドウ	着信時もしくは通話開始時に起動するメインウィンドウです。
着信メッセージ	着信時に、PC画面右下にポップアップします。(初期値：非表示)
常駐アイコン	本アプリケーションの常駐アイコンです。

※MOT/Phone についての説明は別紙「MOT/Phone Windows 版 操作・設定ガイド」をご参照ください。

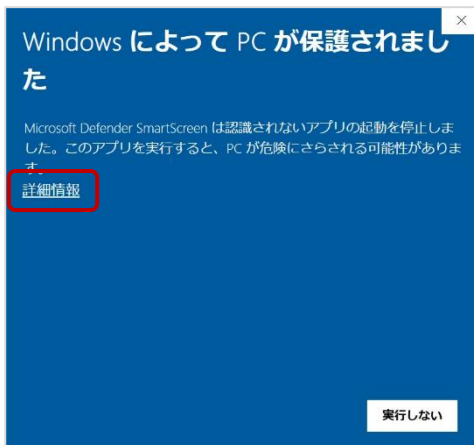
2. インストール手順

2-1. アプリケーションのインストール

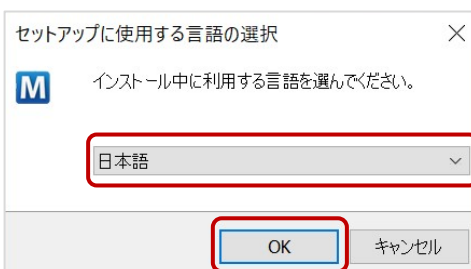
■ インストーラの起動



1. インストーラをダブルクリックすると、MOT/Phone POP-UP セットアップウィザードを表示します。



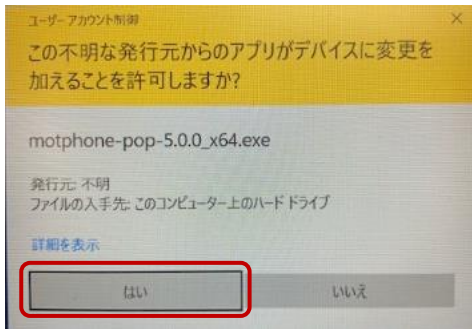
2. 左図のメッセージが表示された場合、「詳細情報」をクリック後、表示する[実行]をクリックします。



3. 本アプリのインストール処理時の各画面で表示する対応言語を選択し、[OK]をクリックします。



※ここで選択した言語は、「[MOT/Phone POP-UP のインストール](#)」で表示する画面に反映されます。

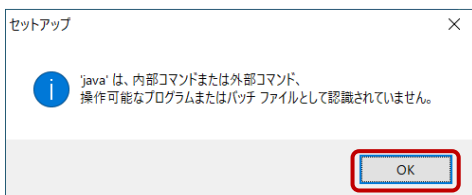


4. [はい]をクリックします。

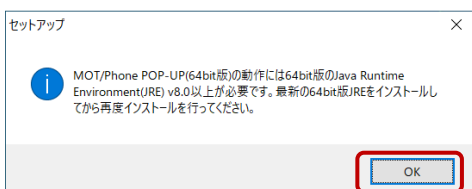
※言語を選択後、必要コンポーネント（リベリカ JDK）のインストールがされていない場合は、インストールを促す以下のようなメッセージが出力されます。

[はい] [OK]をクリックすると遷移するインストール画面にて、インストール処理を行ってください。インストール処理の手順は、次ページをご参照ください。

すでにインストールされている場合は、インストールを促すメッセージは出力されません。メッセージが出力されない方は、[「MOT/Phone POP-UP のインストールを開始する」](#) ページに進んでください。



5. [OK]をクリックします。

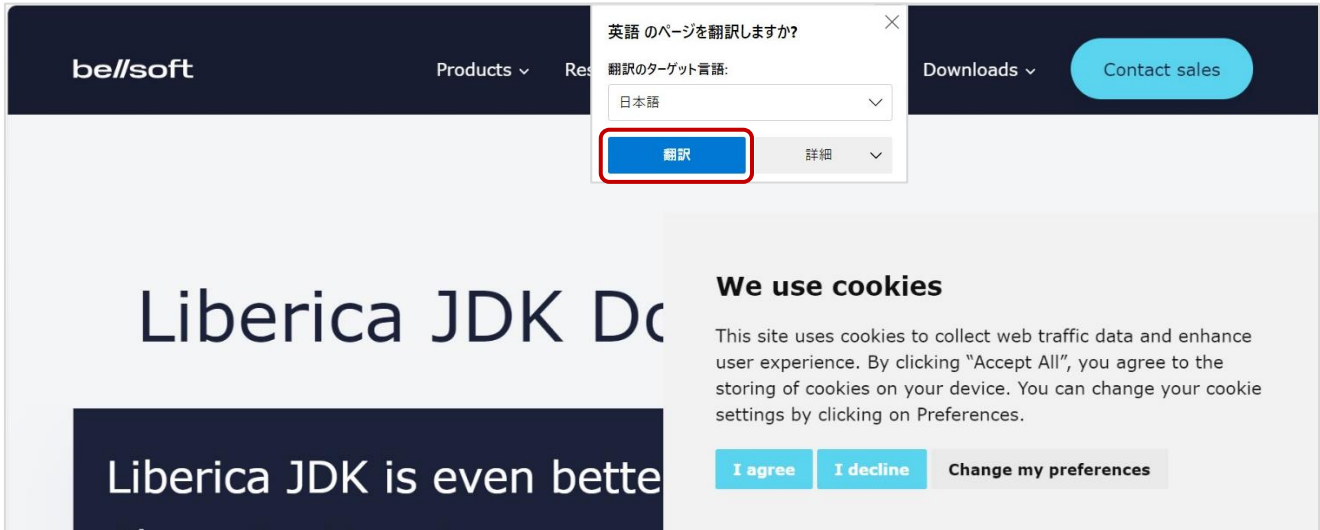


6. [OK]をクリックします。

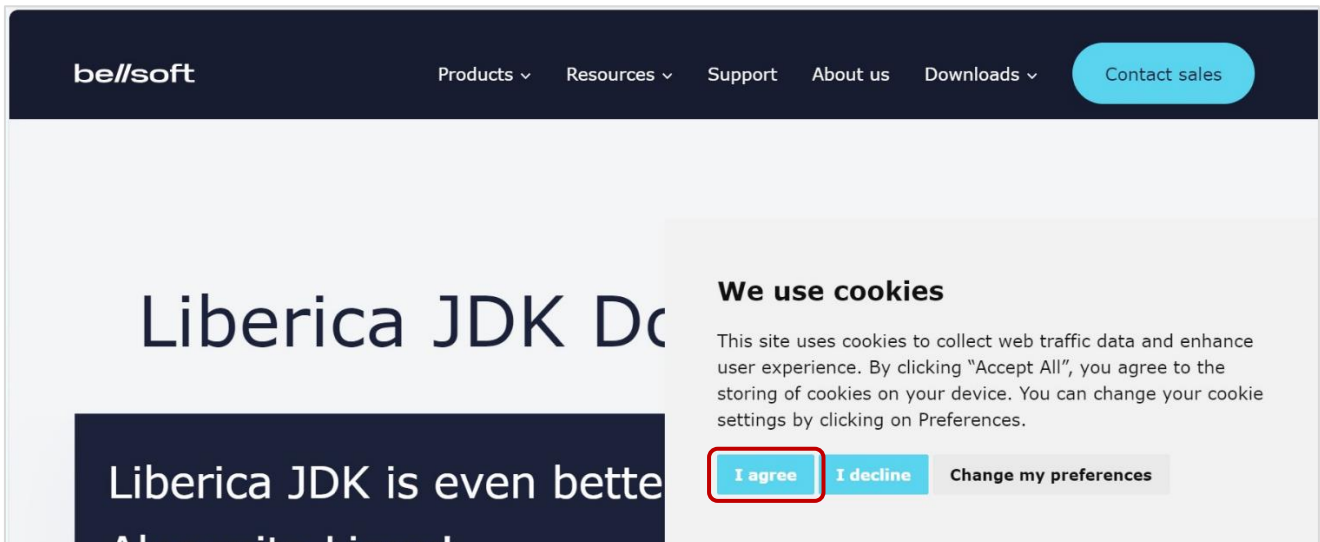
■ 必須コンポーネント（リベリカ JDK）をインストールする

<リベリカ JDK インストール画面>

1. 表示するインストール画面上部の「翻訳のターゲット言語」画面で表示する言語を選択し、**[翻訳]**をクリックします。



2. Cookie の利用を有効にするかどうかのメッセージが表示されていますので、**[I agree]**を選択し、Cookie の利用に同意すると、メッセージの表示が消えます。



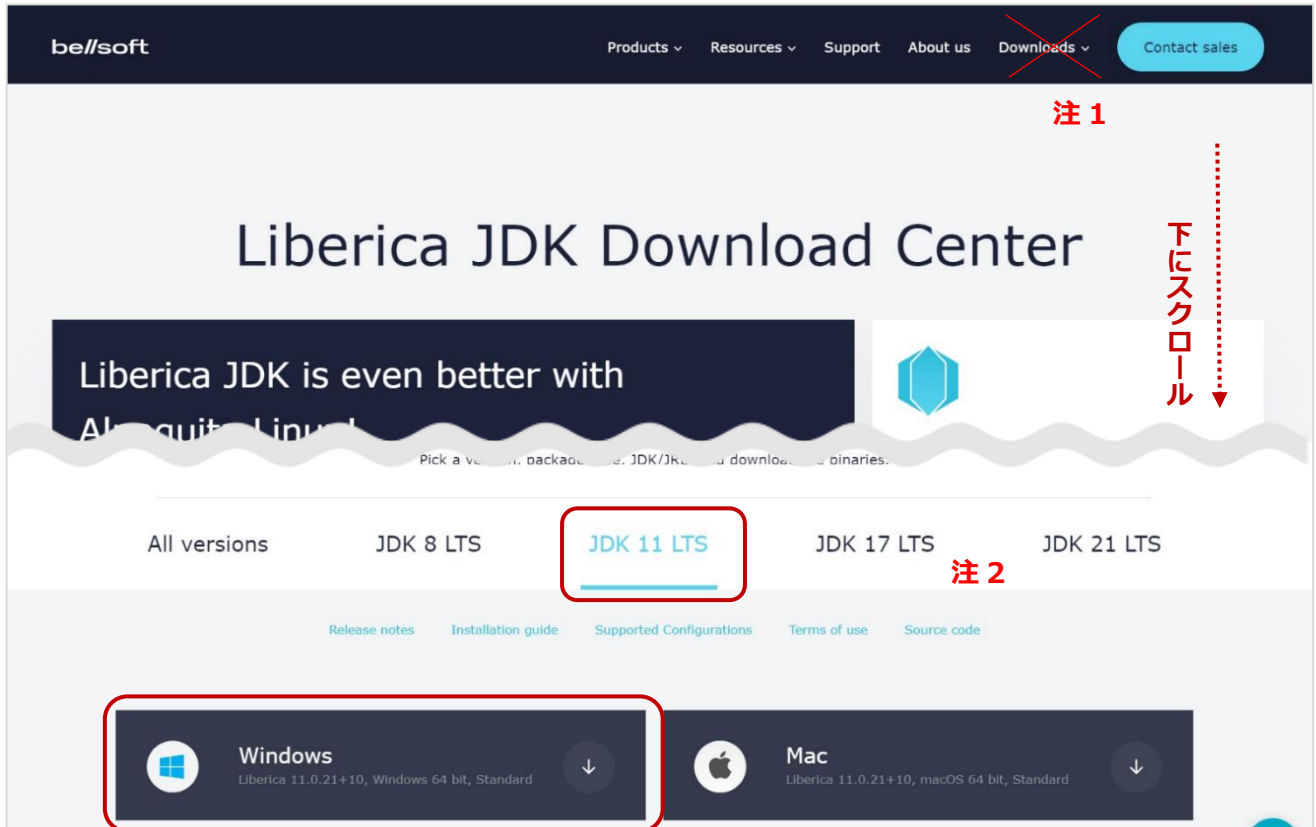
3. 画面を下にスクロールし、「JDK11 LTS」タブを選択し、「Windows」をクリックしてください。

注 1 : 画面上部にある「Downloads」は使用しません。

間違えて押さないようにお気をつけください。

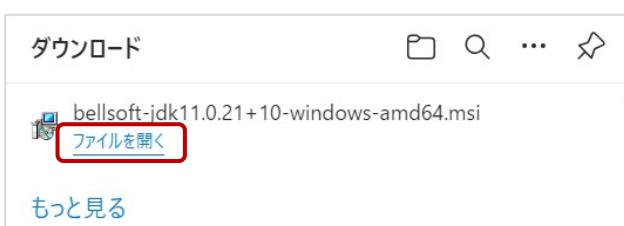
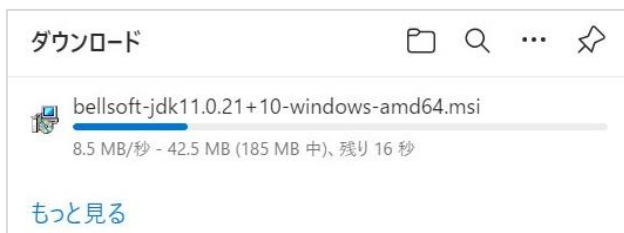
注 2 : 初期値は「JDK17 LTS」タブが選択されている状態です。

必ず「JDK11 LTS」タブを選択してから、「Windows」をクリックしてください。

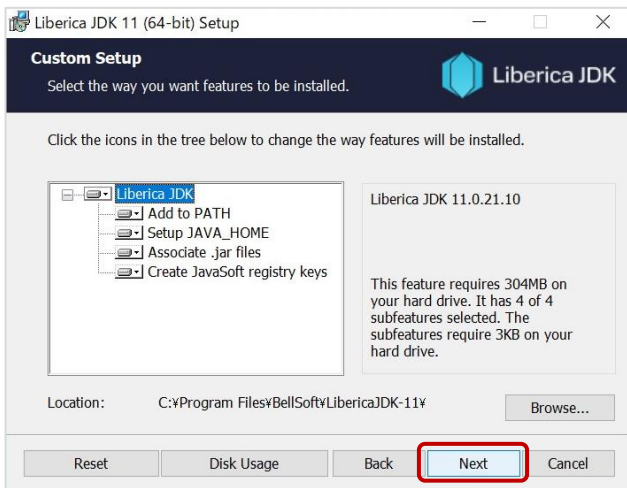


4. ダウンロードを開始します。

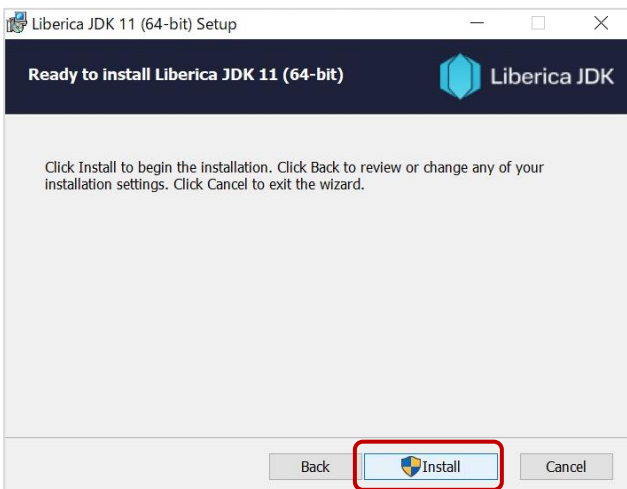
ダウンロード完了後、「ファイルを開く」をクリックし、ファイルを開きます。



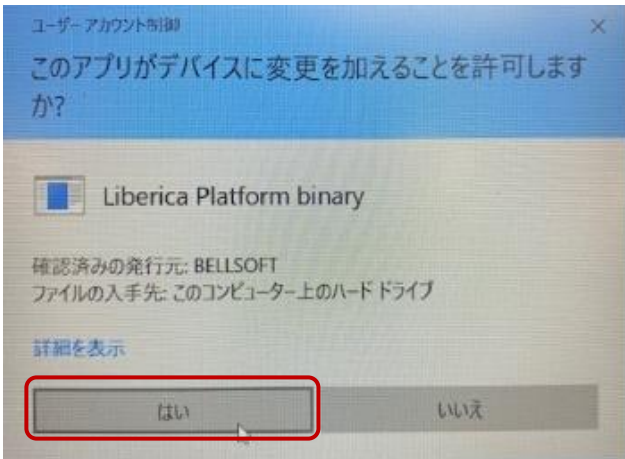
5. 表示メッセージに対して **[Next]** をクリックし、進めてください。



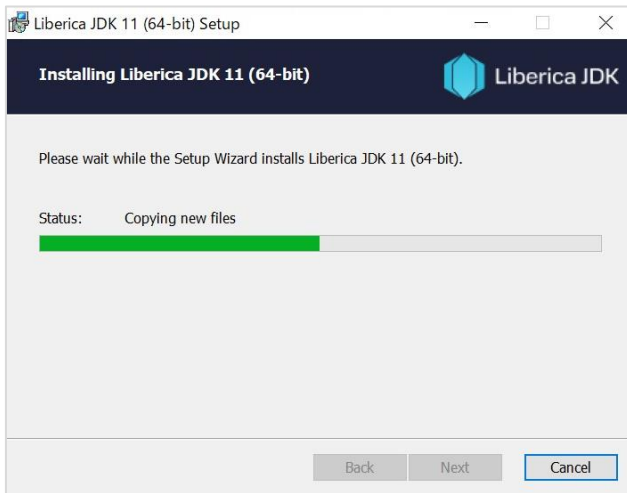
6. **[Install]** をクリック後、インストールが開始します。



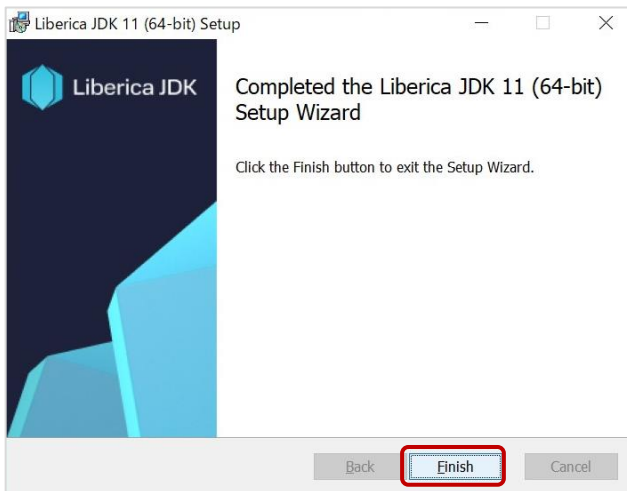
7. インストール開始の際に、以下の画面が表示されたら、**[はい]**を選択してください。



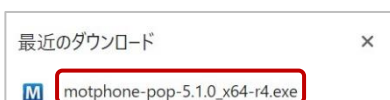
インストール中



8. インストール完了後、以下の画面で **[Finish]** をクリックしてください。



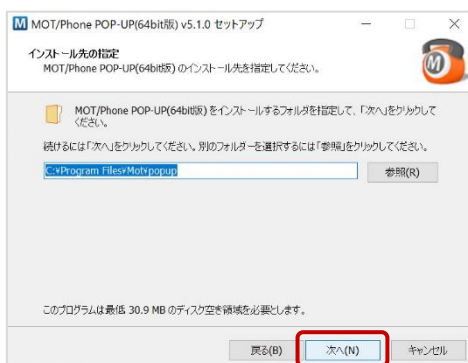
必要コンポーネント（リベリカ JDK）のインストール完了後、再度 MOT/Phone POP-UP のインストーラをダブルクリックして [インストーラを起動](#)し、インストールを開始してください。



■ MOT/Phone POP-UP のインストールを開始する



1. 利用許諾契約書をよくお読みください。
[同意する]を選択すると[次へ]がクリックできるようになります。
[次へ]をクリックするとセットアップを続行します。



2. MOT/Phone POP-UP をインストールするフォルダを選択します。フォルダが存在しない場合は自動的に作成されます。
[次へ]をクリックし、セットアップを続行します。



3. MOT/Phone POP-UP のプログラムグループを設定します。
[次へ]をクリックし、セットアップを続行します。



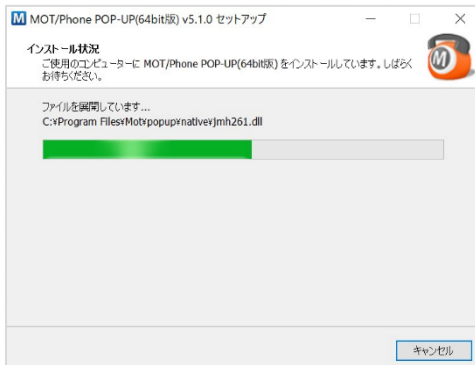
4. Windows 起動時に MOT/Phone POP-UP を自動起動したい場合は[スタートアップにショートカットを作成]にチェックを入れます。
デスクトップに起動用ショートカットを作成したい場合は [デスクトップにショートカットを作成]にチェックを入れます。
設定後、[次へ]をクリックします。



5. 設定を確認し、**[インストール]**をクリックします。



インストール中



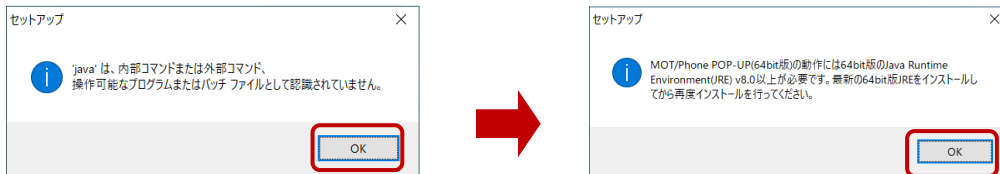
6. インストールが完了しました。
 セットアップウィザード終了後にアプリケーションを起動
 したい場合は**[MOT/Phone POP-UP を起動]**にチェックを
 入れて**[完了]**をクリックします。



※ インストール後、正常に動作しない場合

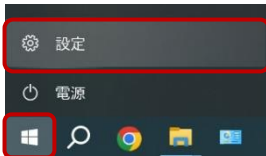
<注意事項>

PCによっては、必要コンポーネント（リベリカ JDK）が PC にインストールされていない状態でも、以下のインストールを促す上記のメッセージが表示されない場合がございます。



MOT/Phone POP-UP のインストール完了後、正常な動作をしない場合は、必要コンポーネント（リベリカ JDK）がインストールされていない可能性がございます。
以下の手順で、インストールがされているかご確認ください。

1. PC の  から**設定**を開きます。



2. 「設定」内の**アプリ** > **既存のアプリ**を選択します。



3. 「Liberica」のアプリを検索します。
インストール済の場合は、以下のように対象のアプリを表示します。



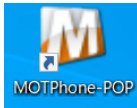
該当のアプリがない場合は、以下の URL からリベリカ JDK のインストールを行ってください。
<https://bell-sw.com/pages/downloads/>

インストール方法は、「[必要コンポーネント（リベリカ JDK）をインストールする](#)」ページをご参照ください。

3. アプリの起動・終了とメニュー説明

3-1. 起動と終了

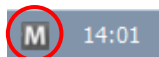
アイコン



オンライン



オフライン



■ 起動

1. Windows 起動時に MOT/Phone POP-UP を自動起動にしている場合は、自動で起動します。
自動起動の設定にしていない場合は、デスクトップ上の MOT/Phone POP-UP アイコンをダブルクリックします。
2. タスクトレイに **M** アイコンが表示されます。
サーバへの番号登録が成功し、内線側電話機の準備が完了した（電話が着信できる状態）場合は**緑色**、失敗またはアカウント登録をキャンセルした場合は**灰色**のアイコンとなります。

登録完了



登録削除



■ 内線電話機の登録

連動する内線電話機の登録が完了すると、タスクトレイからメッセージがポップアップします。
番号登録を削除した際も同様に表示されます。

※内線電話を接続する場合、MOT/PBX または MOT/TEL への登録が成功している必要がございます。

■ 登録状態の確認

タスクトレイの **M** アイコンをクリックすると、設定した内線番号と、現在の番号登録状態が表示されます。

[MOT/PBX 登録][電話機登録]ともに、[登録済] になると、通話を行うことができます。

本アプリケーション（MOT/Phone POP-UP）を、ソフトフォン（MOT/Phone Windows）と連動して利用する場合には左図のように表示されます。[内線番号]には、ソフトフォンが MOT/PBX へ登録した内線番号が表示されます。



■ 終了

1. タスクトレイの **M** アイコンを右クリックし、メニューを表示します。
2. メニューから「閉じる」を選択します。
3. 自動的にオフラインとなり、MOT/PBX に端末登録削除パケットを送信します。
その後、タスクトレイから **M** アイコンが消去されます。



アプリケーションをソフトフォンの配下で利用している場合、端末登録を削除するにはソフトフォンを終了してください。



M アイコン
を右クリック

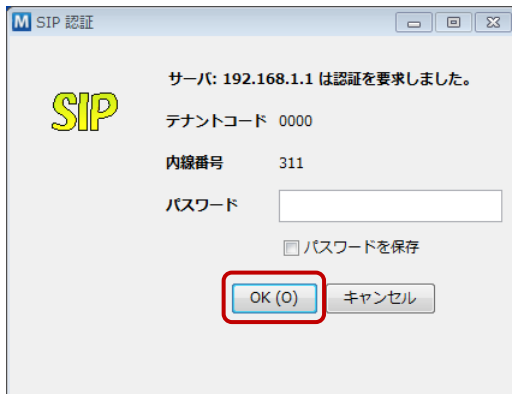
3-2. 再試行要求ダイアログ

サーバ認証に失敗、または認証情報が未入力である場合、再試行のためのダイアログが表示されます。



■ 認証失敗

1. パスワードが間違っている場合は認証失敗となり、再入力ダイアログが表示されます。
2. 正しい設定を入力し [OK] を押すと、入力情報を使用して認証を行います。認証に成功するとタスクトレイのアイコンがオンライン状態に変わります。その際に [パスワードを保存] にチェックを入れると、新たに設定したパスワードを設定情報として保存します。



■ 認証要求

1. パスワードを保存せずにアカウントを登録した場合、アプリケーション起動時に毎回パスワード要求ダイアログが表示されます。
2. パスワードを入力して [OK] を押すと認証を行います。認証に成功するとタスクトレイのアイコンがオンライン状態に変わります。その際に [パスワードを保存] にチェックを入れるとパスワードが保存され、以降の起動時にはこのダイアログが表示されなくなります。

3-3. MOT/Phone POP-UP の各メニュー

タスクトレイの **M** アイコンを右クリックすると各メニューが表示されます。
 メニューには、以下の項目があります。
 各項目をクリックすることにより、各機能を利用することができます。



■メニュー一覧

項目名称	機能説明
設定	アプリケーションおよびアカウント情報の設定を行う設定画面を表示します。
顧客情報	外部連携先の設定に応じて、MOT/PBX、MOT/Cloud または指定の外部サイトの画面を表示、もしくは指定アプリケーションの起動を行います。 ※MOT/TEL（プラチナ・プレミアムは除く）をご利用の場合、「 外部連携先設定 」で「クラウドサービス（直接接続）」を選択してください。
電話帳	PC に保存されている電話帳情報を表示します。 外部連携先の「電話帳連携機能を利用する」を有効にしている場合は指定のサイト・アプリを表示します。
通話履歴	通話履歴の画面を表示します。
状態表示	現在の端末登録状態を表示します。 また MOT/PBX または MOT/TEL に対し、端末登録・登録解除を行います。 ※[設定]- [一般]タブの「連動電話機」で「ソフトフォン」を選択している場合、「状態表示」はメニューに表示されません。
アップデート確認	アプリケーションの最新バージョンを確認、アップデートを行います。
バージョン情報	アプリケーションのバージョン情報を表示します。
FAX 機能	FAX 送信を行うウィンドウを表示します。
FAX 送受信履歴	FAX の送受信履歴を表示します。
FAX 受信	FAX 受信用メールボックスから手動で受信を行います。
閉じる	アプリケーションを終了します。

4. 連動電話機別の設定

4-1. ソフトフォン (MOT/Phone Windows) と連動する

本アプリケーションを MOT/Phone Windows と連動する場合の設定方法です。

※MOT/PBX との通信はソフトフォンが行います。



■ 一般設定

1. [一般]タブを選択し、ソフトフォン (MOT/Phone Windows) と連動するための設定情報を入力します。

●MOT/Phone Windows 版の設定> 「アカウント設定」画面にある「POPUP ポート」と同値にします。

「ソフトフォン」を選択します。

MOT/Phone Windows 版「アカウント設定」画

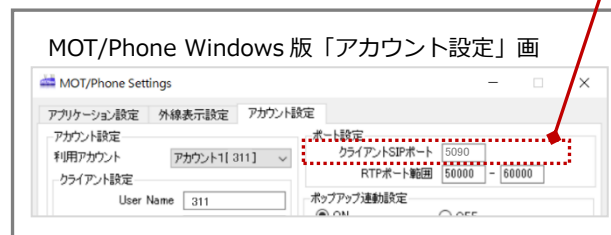
■ アカウント設定

- 次に[アカウント]タブを選択し、アカウント情報を入力します。
入力後、[更新]ボタンをクリックします。

●MOT/Phone Windows 版の設定>「アカウント設定」画面にある「クライアント SIP ポート」と同値にします。

MOT/TEL を利用する場合は、テナントコードも入力します。

ソフトフォンに設定する内線番号とサーバアドレスを入力してください。サーバアドレスには **127.0.0.1** と入力します。



■ [アカウント]タブの項目

項目名称	機能説明
利用アカウント	使用しません。(ソフトフォンの利用アカウントを変更すると、利用する内線番号、PBX を切り替えることが可能です)
[設定初期化]ボタン	選択中アカウントの設定を削除します。
内線番号	ソフトフォンが使用する内線番号を 1 つ入力します。(ソフトフォンが利用可能になるまでのデフォルト値として使用します)
サーバアドレス	127.0.0.1 を入力します。
パスワード	使用しません。
パスワードを保存	パスワードを保存する場合にチェックします。
テナントコード	使用するテナントコードを入力します。 ※MOT/TEL を利用する場合のみ入力
SIP ポート番号	ソフトフォンの SIP ポート番号を入力します。 デフォルト値は 5090 番です。
認証 ID	使用しません。
HTTP ポート番号	MOT/PBX の HTTP ポート番号を入力します。デフォルト値は 18080 番です。
STUN サーバ利用	使用しません。
キープアライブ確認間隔	使用しません。

3. **[更新]**ボタンを押下後に表示する以下の確認画面で入力内容を確認後、**[登録]**ボタンをクリックすることで設定が保存されます。

設定した内容を反映するために、MOT/PhonePOP-UP アプリケーションを再起動してください。

設定 (S)

一般 アカウント FAX機能

設定情報

<利用アカウント>

内線番号: @127.0.0.1

パスワードを保存: する

テナントコード:

サーバアドレス: 127.0.0.1

SIPポート番号: 5090

HTTPポート番号: 18080

キーブライブ確認間隔 (秒):

STUNサーバを利用: しない

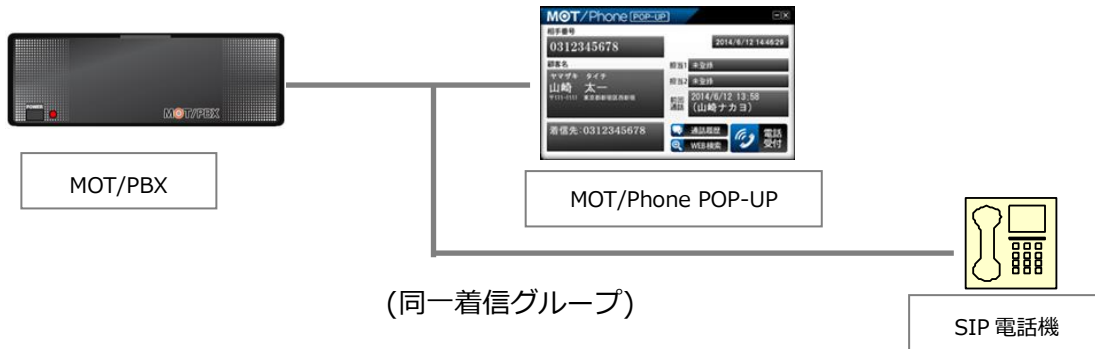
戻る 登録

4-2. 電話機と連動しない

本アプリケーションで着信時の情報表示だけを行い、通話は別の電話機で行う場合は以下のように設定します。

ソフトフォンを使用せず、PCに固定IPアドレスが設定できない場合に選択します。グループ着信時に情報ウィンドウを表示します(着信は同一着信グループのSIPフォン等で受けます)。

※通話用の電話機を同一の着信グループに設置する必要があります。



■ 一般設定

1. [一般]タブを選択し、電話機と連動しない場合の設定情報を入力します。

The screenshot shows the 'M 設定 (S)' window with the '一般' (General) tab selected. In the '基本設定' (Basic Settings) section, the '連動電話機' (Linked Phone) dropdown menu is highlighted with a red box and set to '連動しない' (Do not link). A red callout box points to this dropdown with the text: 「連動しない」を選択します。 (Select 'Do not link'). Other settings visible include '表示言語' (Display Language) set to Japanese, '起動時にファームウェアの更新を確認する' (Check for firmware updates at startup) checked, and 'デバッグログ出力' (Debug log output) checked. The '着信情報ウィンドウ設定' (Call Information Window Settings) section shows 'ウィンドウ表示位置' (Window display position) set to '右下' (Bottom Right) and '表示時の状態' (Status when displayed) set to 'スクリーン前面にウィンドウ表示' (Display window on screen). The '外部連携先設定' (External Connection Settings) section shows '連携先' (Destination) set to 'クラウドサービス(直接接続)' (Cloud Service (Direct Connection)).

■ アカウント設定

- 次に[アカウント]タブを選択し、アカウント情報を入力します。
入力後、[更新]ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'アカウント' (Account) tab in the MOT settings. The 'アカウント2 (816)' is selected. The 'アカウント設定' (Account Settings) section includes fields for '内線番号' (816), 'サーバアドレス' (202.212.0.198), 'パスワード' (masked), and 'テナントコード' (0000). The 'サーバ設定' (Server Settings) section includes 'SIPポート番号' (5060), '認証ID', 'HTTPポート番号' (18080), and a checked 'STUNサーバを利用' option. A 'キープアライブ確認間隔' (Keep-alive check interval) of 20 seconds is also set. Red callout boxes provide instructions: '利用する内線番号、パスワードと、MOT/PBX または MOT//TEL のアドレスを入力してください。' (Use the extension number, password, and MOT/PBX or MOT//TEL address); 'NAT 越える場合にチェックします。' (Check when NAT is crossed); and 'MOT/TEL を利用する場合は、テナントコードも入力します。' (When using MOT/TEL, also enter the tenant code). Buttons for '戻る' (Back) and '更新' (Update) are at the bottom right.

■ [アカウント]タブの項目

項目名称	機能説明
利用アカウント	使用するアカウントを選択します。
[設定初期化]ボタン	選択中アカウントの設定を削除します。
内線番号	使用する内線番号を入力します。
サーバアドレス	MOT/PBX のアドレスを入力します。
パスワード	パスワードを入力します。
パスワードを保存	パスワードを保存する場合にチェックします。
テナントコード	使用するテナントコードを入力します。 ※MOT/TEL を利用する場合のみ入力
SIP ポート番号	サーバの SIP ポート番号を入力します。デフォルト値は 5060 番です。
認証 ID	認証に使用する ID を入力します。空欄の場合は内線番号を使用します。
HTTP ポート番号	MOT/PBX の HTTP ポート番号を入力します。デフォルト値は 18080 番です。
STUN サーバを利用	NAT 越えを有効にします。
キープアライブ確認間隔	キープアライブ確認を行う間隔を入力します。

3. **[更新]**ボタンを押下後に表示する以下の確認画面で入力内容を確認後、**[登録]**ボタンをクリックすることで設定が保存されます。

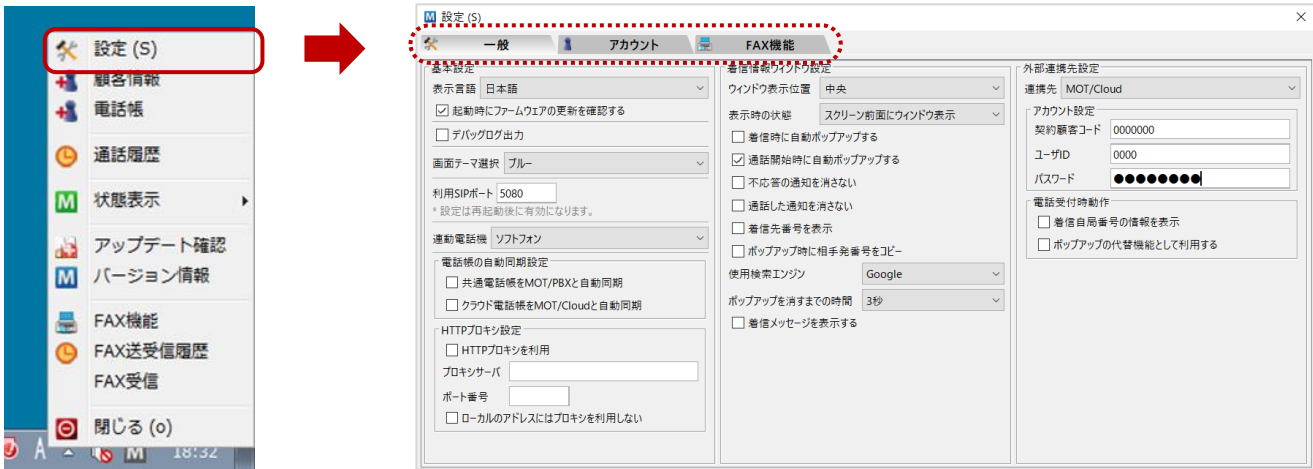
設定した内容を反映するためにアプリケーションを再起動してください。

The screenshot shows a software window titled '設定 (S)' with three tabs: '一般' (General), 'アカウント' (Account), and 'FAX機能' (FAX Function). The 'アカウント' tab is active, displaying '設定情報' (Setting Information) for two accounts. The '登録' button at the bottom right is highlighted with a red box.

<利用アカウント>		<サブアカウント>	
内線番号:	6105@192.168.1.1	内線番号:	816@202.212.0.198
パスワードを保存:	する	パスワードを保存:	する
テナントコード:		テナントコード:	0000
サーバアドレス:	192.168.1.1	サーバアドレス:	202.212.0.198
SIPポート番号:	5060	SIPポート番号:	5060
HTTPポート番号:	18080	HTTPポート番号:	18080
キーブアライブ確認間隔 (秒):	300	キーブアライブ確認間隔 (秒):	300
STUNサーバを利用:	しない	STUNサーバを利用:	する

5. 設定画面の説明

タスクトレイのメニューから「設定」の項目をクリックすると、設定メニューウィンドウが表示されます。設定メニューウィンドウには、[一般][アカウント][FAX 機能]タブがあります。

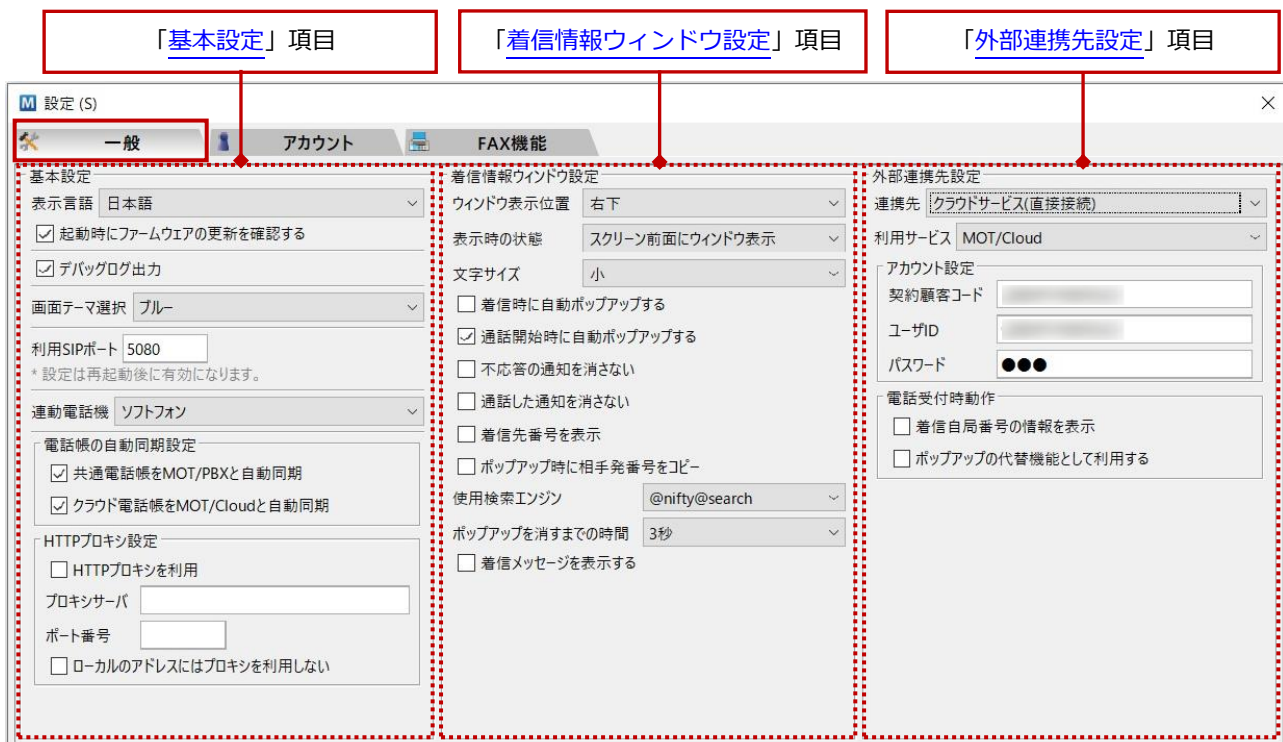


タブ名称	機能説明
一般	起動設定や着信情報ウィンドウの表示タイミング、位置等の設定を行います。
アカウント	接続先アドレス、内線番号、パスワード等の設定を行います。
FAX 機能	FAX 送受信に使用するメールサーバ、ID 等の設定を行います。

5-1. [一般]タブ

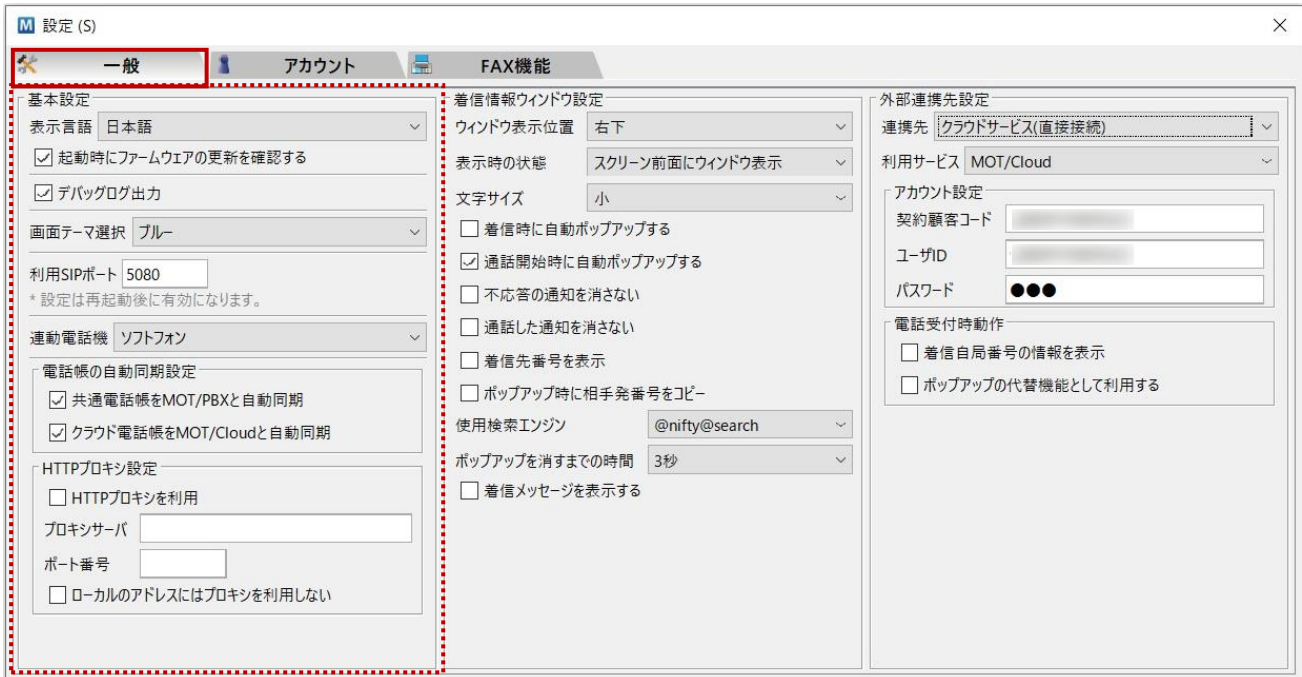
表示された設定ウィンドウの[一般]タブを選択します。

[一般]タブでは、自動起動設定、着信情報ウィンドウの表示タイミング、位置等の設定を行います。設定変更は即座に反映されます（一部の項目は、次回の起動時に有効になります）。



■ 基本設定

[一般]タブを選択し、画面左側の「基本設定」項目にて、本アプリケーションの基本的な設定を行います。



■ 「基本設定」項目

項目名称	機能説明
表示言語	表示に使用する言語を選択します。 ※表示言語「英語」は、FAX 機能には対応していません。
起動時にファームウェアの更新を確認する	アプリケーション起動時に、自動で最新のアプリケーションの確認を行います。新しいアプリケーションが見つかった場合は、アップデートウィンドウを表示します。
デバッグログ出力	チェックをつけると、デバッグ用のログ出力を有効にします。 ※万が一の異常時や正常に作動しない場合に、本設定を有効にしておくことで、ログを出力することが可能です。 弊社サポートセンターから依頼があった場合に、ログのご提出をお願いいたします。 ログの保存先については、以下に記載の《ログの取得方法》をご確認ください。
画面テーマ選択	初期値の「ブルー」を選択してください。 ※その他は、現バージョンではご利用いただけません。
利用 SIP ポート	使用する SIP ポート番号を設定します。設定は再起動後に有効になります。 (初期値 5080)
連動電話機	<ul style="list-style-type: none"> ・MOT/Phone Windows と連動する場合は「ソフトフォン」を選択します。 ※詳細は「ソフトフォン (MOT/Phone Windows) と連動する」をご参照ください。 ・ソフトフォンを利用せず、PC に固定 IP アドレスが設定できない場合は「連動しない」を選択すると、グループ着信時に情報ウィンドウを表示、または指定した外部連携先(アプリ/URL)と連動することができます。 ※「並列接続」「SIP フォン」は、現バージョンではご利用いただけません。
電話帳の自動同期設定	共通電話帳は、MOT/PBX の電話帳が自動的に反映します。 クラウド電話帳も利用したい場合は、「外部連携先設定」で「MOT/Cloud」を

	<p>選択し、契約顧客コード・ユーザ ID・パスワードを入力することで、利用可能となります。</p> <p>本項目は、利用する電話帳を自動で更新する場合に利用します。</p> <p>手動ではなく自動更新する場合は、対象の電話帳にチェックつけてください。</p> <p>※自動更新の動作については、「電話帳の自動同期」ページをご参照ください。</p>
HTTP プロキシ設定	<p>プロキシサーバ経由で MOT/PBX や MOT/Cloud から電話帳を取得する場合に、使用するプロキシサーバのアドレスとポート番号を設定します。</p>

《ログの取得方法》

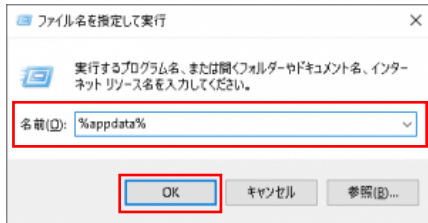
※弊社サポートセンターから依頼があった場合に、以下の手順でログを取得してください。

上記「デバッグログ出力」項目で、チェックをつけていることが前提条件です。

1. キーボードの「**Windows**」キーを押しながら、「**R**」キーを押します。

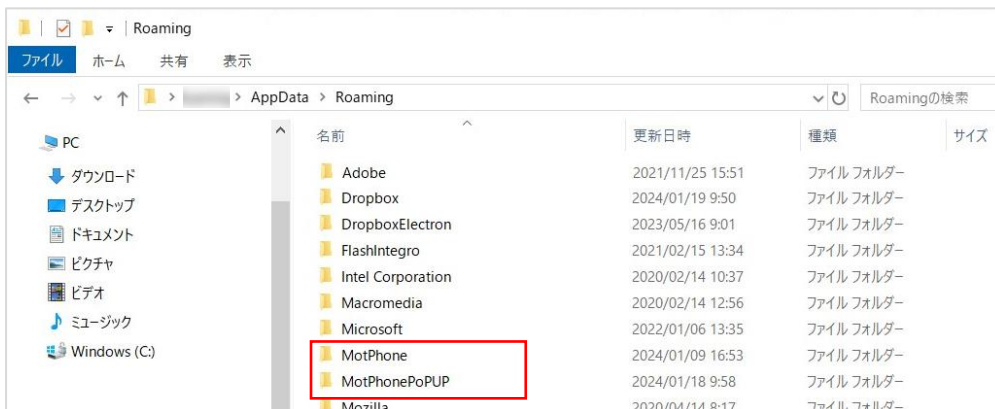


2. 「ファイル名を指定して実行」画面が表示されるので、「**%appdata%**」と入力し、**[OK]**を押します。



3. 「C:¥Users¥ (ユーザー名) ¥AppData¥Roaming」のフォルダを表示します。

そのフォルダ内にある「MotPhone」と「MotPhonePoPUP」というフォルダから、ログを取得します。



「MotPhonePoPUP」フォルダには Windows 版 MOT/PhonePOPUP、「MotPhone」フォルダには Windows 版 MOT/Phone のログが保存されています。

それぞれのフォルダ内にある「log」というフォルダから、ログを取りたい該当の日付のものを PC に保存します。

通話履歴のログデータも「MotPhonePoPUP」フォルダ内に入っています。

ivacromedia	2020/02/14 12:30	ファイル フォルダー
Microsoft	2022/01/06 13:35	ファイル フォルダー
MotPhone	2024/01/09 16:53	ファイル フォルダー
MotPhonePoPUP	2024/01/18 9:58	ファイル フォルダー
Mozilla	2020/04/14 8:17	ファイル フォルダー

File Explorer view of MotPhonePoPUP folder:

Path: AppData > Roaming > MotPhonePoPUP

名前	更新日時	種類
history_ver1.0	2021/04/30 14:39	ファイル フォルダー
log	2024/01/16 16:31	ファイル フォルダー
sip-communicator.bin	2024/01/16 16:31	ファイル フォルダー
lock	2024/01/16 16:31	LOCK ファイル
recvfaxUIDs	2023/11/07 9:59	RECVFAXUIDS ファイル
contactlist.xml	2024/01/16 16:31	Microsoft Edge HTML D...
contacts.xml	2024/01/18 9:58	Microsoft Edge HTML D...
locker.dat	2023/12/25 14:37	DAT ファイル

File Explorer view of log folder:

Path: AppData > Roaming > MotPhonePoPUP > log

名前	更新日時	種類
sip-communicator0.log.0	2024/01/18 9:58	0 ファイル
sip-communicator0.log.0.lck	2023/12/25 14:37	LCK ファイル
sip-communicator0.log.1	2023/12/25 15:50	1 ファイル
sip-communicator0.log.2	2023/12/25 14:40	2 ファイル
sip-communicator0.log.3	2023/12/25 14:36	3 ファイル
sip-communicator0.log.4	2023/12/21 15:44	4 ファイル
sip-communicator0.log.5	2023/12/14 14:29	5 ファイル
sip-communicator0.log.6	2023/11/27 8:55	6 ファイル

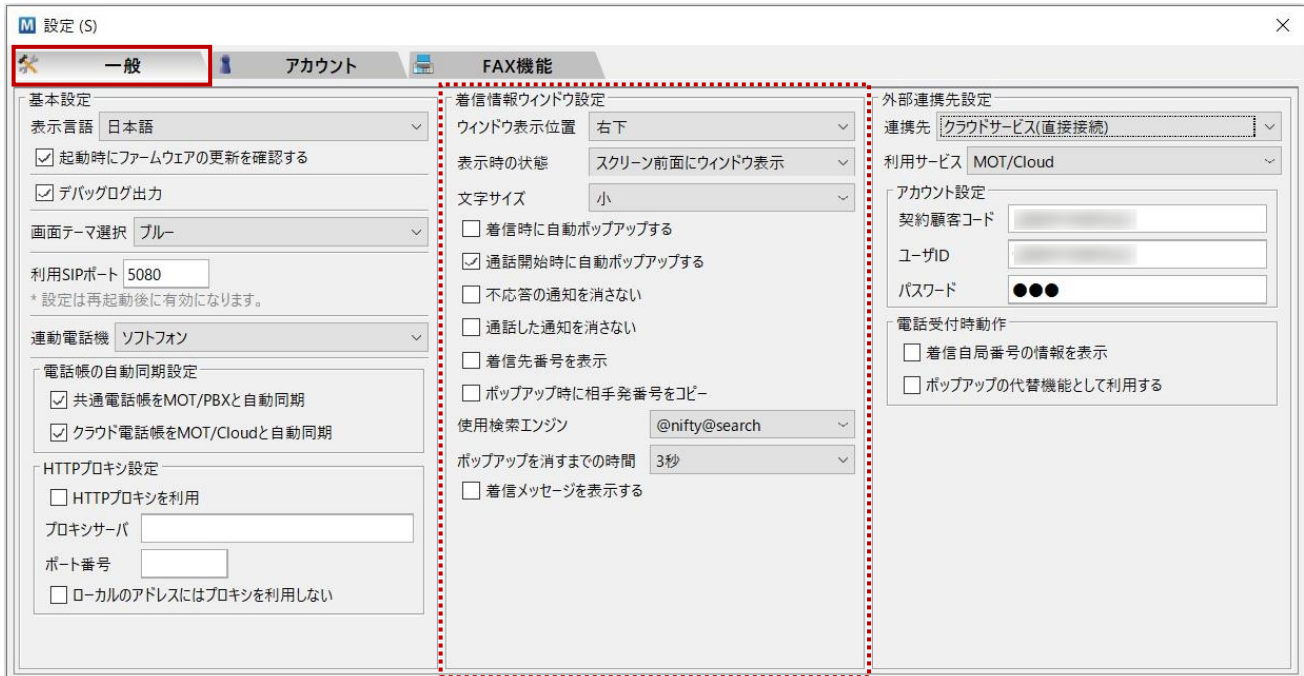
ログを取りたい該当の日付のものを、PCに保存します。

■ 着信情報ウィンドウ設定

[一般]タブを選択し、画面真ん中の「着信情報ウィンドウ設定」項目にて、着信情報ウィンドウの表示位置、表示時間、表示項目などの設定を行います。

※「着信情報ウィンドウ」とは、着信もしくは通話開始時にポップアップする、発信元の情報を表示するメインウィンドウです。

「着信情報ウィンドウ」の画面や詳細については、「[着信時の動作](#)」ページをご参照ください。



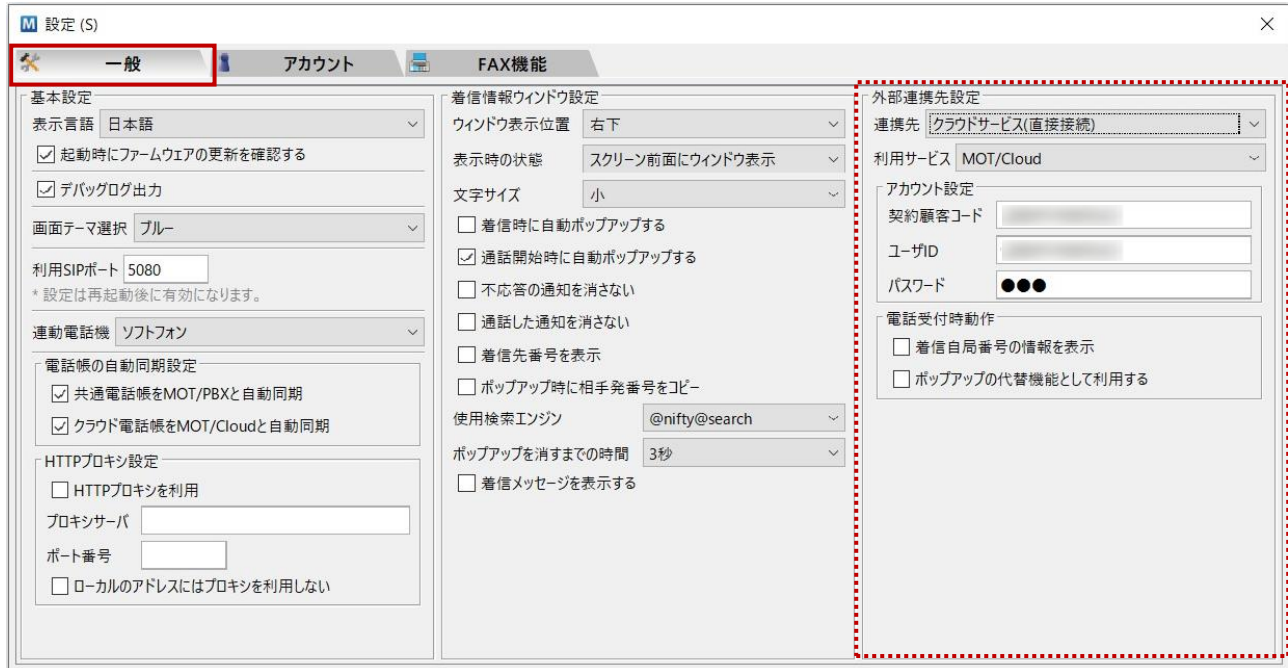
■ 「着信情報ウィンドウ設定」項目

項目名称	動作説明
ウィンドウ表示位置	PC画面のどの位置に着信情報ウィンドウを表示するか選択します。
表示時の状態	着信情報ウィンドウ表示時に他のウィンドウより前または後ろに表示するか、あるいは最小化して表示するかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ・[スクリーン前面にウィンドウ表示]を選択した場合 最前面に着信情報ウィンドウを表示します。 ・[スクリーン背面にウィンドウ表示]を選択した場合 他のウィンドウより後ろに着信情報ウィンドウを表示 ・[ウィンドウを最小化して表示]を選択した場合 タスクバーにアイコンを表示します。 アイコンをクリックすると、着信情報ウィンドウを表示します。
文字サイズ	着信情報ウィンドウの文字サイズを、大・中・小から選択できます。 文字サイズ変更の対象項目は、「相手番号」と「顧客名」です。 ※画面イメージは「 着信情報ウィンドウ画面 」ページをご参照ください。
着信時に自動ポップアップする	チェックを入れると、着信があった際に着信情報ウィンドウを表示します。
通話開始時に自動ポップアップする	チェックを入れると、通話を開始した際に着信情報ウィンドウ表示します。
不応答の通知を消さない	チェックを入れると、着信に回答しなかった際の着信情報ウィンドウは、手動で閉じない限り表示され続け、着信をする度に新しいウィンドウを表示します。 ※「通話開始時に自動ポップアップする」にチェックをつけている場合、この項目は無効です。

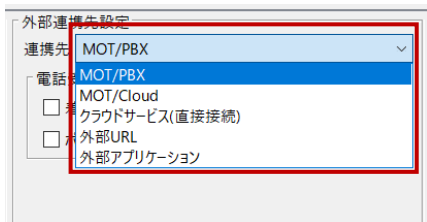
<p>通話した通知を消さない</p>	<p>チェックを入れると、応答した通話の着信情報ウィンドウは、通話終了後も自動的に消えず、手動で閉じない限り表示され続けます。 着信をする度に新しいウィンドウを表示します。</p>
<p>着信先番号を表示</p>	<p>チェックを入れると、着信情報ウィンドウの画面左下に、着信先番号を表示します。※ナカヨ機器への着信には非対応です。</p>
<p>ポップアップ時に相手発番号をコピー</p>	<p>チェックを入れると、着信情報ウィンドウが表示されたタイミングで相手番号をコピーした状態になります（クリップボードにコピー）。 コピーした番号は、テキストエディタ等に貼り付けることができます。</p>
<p>使用検索エンジン</p>	<p>着信情報ウィンドウの[WEB 検索]ボタン押下で表示する検索エンジンを選択します。※「@nifty@search」のみ、動作しません。</p>
<p>ポップアップを消すまでの時間</p>	<p>通話終了後に、着信情報ウィンドウが消えるまでの時間を選択します。 表示する時間を[0 秒][1 秒][2 秒][3 秒][4 秒][5 秒][30 秒][60 秒][120 秒][180 秒]から選択します。 ※「不応答の通知を消さない」、「通話した通知を消さない」にチェックをつけている場合、本項目で選択している時間に限らず、着信情報ウィンドウは消えません（設定が無効です）。</p>

外部連携先設定

【一般】タブを選択し、画面右側の「外部連携先設定」項目にて、着信情報ウィンドウの[電話受付]押下時と、右クリックメニューの[顧客情報][電話帳]選択時に、外部の機器・ウェブサイト・アプリケーションと連携を行う為の設定を行います。



「連携先」項目で、着信情報ウィンドウと右クリックメニューで使用する外部連携先を選択します。



■ 「連携先」項目一覧

項目名称	機能説明
MOT/PBX	使用している MOT/PBX の設定画面を使用します。
着信自局番号の情報を表示	発信元番号ではなく、着信した自局番号の情報を表示します。
ポップアップの代替機能として利用する	着信情報ウィンドウを表示する代わりに、WEB ブラウザで MOT/PBX の電話受付画面を開きます。
MOT/Cloud	クラウド電話帳をご利用の際に、「MOT/Cloud」を選択します。 また、MOT シリーズの PBX を設置している方が、以下を利用する場合に選択します。
	・ MOT/Cloud の CTI 連動
契約顧客コード	サービスの契約顧客コードを入力します。
ユーザ ID	サービスのログイン用ユーザ ID を入力します。
パスワード	ユーザ ID で使用するパスワードを入力します。
着信自局番号の情報を表示	発信元番号ではなく、着信した自局番号の情報を表示します。
ポップアップの代替機能として利用する	着信時、着信情報ウィンドウを表示する代わりに WEB ブラウザで MOT/Cloud の電話受付画面を開きます。

項目名称	機能説明
クラウドサービス(直接接続)	MOT/TEL (プラチナ、プレミアムを除く) をご利用の方が、以下を利用する場合に選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ MOT/Cloud の CTI 連動 ・ 右クリックメニュー「顧客情報」 また、POS サービスの CTI 連動利用時にも選択します。
利用サービス	利用するサービスを選択します。
MOT/Cloud	cloud.mot-net.com へ接続します。
POS ASP	freepos.office24.ne.jp へ接続します。
Project-MOT	project-mot.webjapan.co.jp へ接続します。
アカウント設定	利用サービスのアカウント情報を入力します。
契約顧客コード	サービスの契約顧客コードを入力します。
ユーザ ID	サービスのログイン用ユーザ ID を入力します。
パスワード	ユーザ ID で使用するパスワードを入力します。
電話受付時動作	必要に応じてチェックします。
着信自局番号の情報を表示	発信元番号ではなく、着信した自局番号の情報を表示します。
ポップアップの代替機能として利用する	着信時、着信情報ウィンドウ表示の代わりに WEB ブラウザで利用サービスの電話受付画面を開きます。
外部 URL	外部のウェブサイトと連携を行う場合に選択します。
電話受付時連携先	着信情報ウィンドウの[電話受付]クリック時の動作を設定します。
ポップアップの代替機能として利用する	着信情報ウィンドウを表示する代わりに WEB ブラウザで指定 URL を開きます。
URL	着信情報ウィンドウの[電話受付]で遷移するウェブサイトを指定します。
顧客情報連携先 URL	右クリックメニューの[顧客情報]選択時に遷移するウェブサイトを指定します。
電話帳連携先	右クリックメニューの[電話帳]選択時の動作を設定します。
電話帳連携機能を利用する	チェックを入れると、[電話帳]選択時に WEB ブラウザで指定した URL を開きます。チェックしない場合、MOT/Phone POP-UP 標準の電話帳が呼び出されます。
URL	[電話帳]メニュー選択で遷移するウェブサイトを指定します。
外部アプリケーション	他社製のアプリケーション等と連携を行う場合に選択します。
電話受付時連携先	着信情報ウィンドウの[電話受付]で連携するアプリケーションを設定します。
ポップアップの代替機能として利用する	着信情報ウィンドウを表示する代わりにアプリケーションを起動します。
ファイル	連携するアプリケーションファイルを指定します。
パラメータ	アプリケーションを起動する際のパラメータを指定します。
顧客情報連携先	
ファイル	連携するアプリケーションファイルを指定します。
パラメータ	アプリケーションを起動する際のパラメータを指定します。
電話帳連携先	右クリックメニューの[電話帳]選択時に連携するアプリケーションを設定します。
電話帳連携機能を利用する	チェックを入れると、[電話帳]選択時に指定のアプリケーションを起動します。チェックしない場合、MOT/Phone POP-UP 標準の電話帳が呼び出されます。
ファイル	連携するアプリケーションファイルを指定します。
パラメータ	アプリケーションを起動する際のパラメータを指定します。

・ MOT/PBX との連携

[アカウント]タブの「サーバアドレス」で設定した MOT/PBX と連携します。
電話機配下動作時は、ソフトフォンが使用している MOT/PBX と連携します。

[電話受付]押下時、[顧客情報]選択時は MOT/PBX の CTI 画面に遷移します。
[電話帳]は MOT/Phone POP-UP 標準の電話帳が呼び出されます。

[着信自局番号の情報を表示]がチェックされている場合、
発信元番号ではなく、着信した自局番号の情報を表示します。

[ポップアップの代替機能として利用する]がチェックされている
場合、着信情報ウィンドウを表示する代わりに WEB ブラウザが起
動し MOT/PBX の電話受付画面を開きます。

外部連携先設定

連携先 MOT/PBX

電話受付時動作

着信自局番号の情報を表示

ポップアップの代替機能として利用する

■ [ポップアップの代替機能として利用する]をチェックする/しない場合の挙動の違い

・ 代替機能として利用しない場合：着信すると、まずポップアップウィンドウが起動します。

・ 代替機能として利用する場合：着信すると、ポップアップウィンドウは起動せずに WEB ブラウザを起動します。

・ MOT/Cloud との連携

クラウド電話帳をご利用の際に、「MOT/Cloud」を選択します。

また、MOT シリーズの PBX を設置している方が、MOT/Cloud の CTI 連動を利用する場合に選択します。

[電話受付]押下時および [顧客情報]選択時は自動的にログインし、MOT/Cloud の電話受付画面および顧客情報画面に遷移します。

MOT/Cloud の契約顧客コード、ユーザ ID、パスワードを入力します。連携を行う際に、入力された情報で MOT/Cloud にログインします。

[着信自局番号の情報を表示]がチェックされている場合、発信元番号ではなく、着信した自局番号の情報を表示します。

[ポップアップの代替機能として利用する]がチェックされている場合、着信情報ウィンドウを表示する代わりに WEB ブラウザが起動し MOT/Cloud の電話受付画面を開きます。

■ [ポップアップの代替機能として利用する]をチェックする/しない場合の挙動の違い

・ 代替機能として利用しない場合：着信すると、まずポップアップウィンドウが起動します。



・ 代替機能として利用する場合：着信すると、ポップアップウィンドウは起動せずに WEB ブラウザを起動します。



・クラウドサービスとの連携(直接接続)

MOT/TEL (プラチナ、プレミアムを除く) をご利用の方が、MOT/Cloud の CTI 連動を利用する場合に「クラウドサービス (直接接続)」を選択します。

※クラウド電話帳を利用する場合は、「利用サービス」で「MOT/Cloud」を選択し、契約顧客コード・ユーザ ID・パスワードを入力することで、利用が可能です。

また、MOT/Cloud 以外の POS サービスの CTI 連動利用時も、クラウドサービス (直接接続) を選択します。

[電話受付]押下時および[顧客情報]選択時は自動的にログインし、クラウドサービスの電話受付画面および顧客情報画面に遷移します。

クラウドサービスの契約顧客コード、ユーザ ID、パスワードを入力します。連携を行う際に、入力された情報でクラウドサービスにログインします。

外部連携先設定

連携先 **クラウドサービス(直接接続)**

利用サービス MOT/Cloud

アカウント設定

契約顧客コード 0112222

ユーザID 3001

パスワード ●●●●●●●●

電話受付時動作

着信自局番号の情報を表示

ポップアップの代替機能として利用する

[着信自局番号の情報を表示]がチェックされている場合、発信元番号ではなく、着信した自局番号の情報を表示します。

[ポップアップの代替機能として利用する]がチェックされている場合、着信情報ウィンドウを表示する代わりに WEB ブラウザが起動し MOT/Cloud の電話受付画面を開きます。

■ [ポップアップの代替機能として利用する]をチェックする/しない場合の挙動の違い

・代替機能として利用しない場合：着信すると、まずポップアップウィンドウが起動します。



・代替機能として利用する場合：着信すると、ポップアップウィンドウは起動せずに WEB ブラウザを起動します。



・外部 URL との連携

外部のウェブサイトと連携します。

[電話受付]押下時、[顧客情報]選択時、[電話帳]選択時にそれぞれ設定したウェブサイトに移ります。

[ポップアップの代替機能として利用する]がチェックされている場合、着信情報ウィンドウを表示する代わりに WEB ブラウザを起動し指定した URL を開きます。

[電話帳連携機能を利用する]がチェックされていない場合、MOT/Phone POP-UP 標準の電話帳が呼び出されます。

特定の文字列を入力することで、可変値として扱う事が出来ます。

- (1) 電話受付時連携先のみ、「%TEL」と入力した部分は **相手電話番号** に変換されます。また、「%PCPI」と入力した部分は **着信自局番号** に変換されます。「%CALLID」と入力した部分は着信時の外線 **Call-ID** (着信呼を一意に識別するための文字列) に変換されます。
- (2) 「%ID」と入力した部分は MOT/Cloud との連携機能で設定した **ユーザ ID** に変換されます。
- (3) 「%PWD」と入力した部分は MOT/Cloud との連携機能で設定した **パスワード** に変換されます。

項目名称	機能説明
電話受付連携先	[電話受付]を押下した時に遷移するウェブサイトを設定します。
顧客情報連携先	[顧客情報]を選択した時に遷移するウェブサイトを設定します。
電話帳連携先	[電話帳]を選択した時に遷移するウェブサイトを設定します。 標準の電話帳を利用することも可能です。

[URL 入力例]

* 電話受付時連携先

http://<PBX_IP>:18080/redir/clredir.cgi?hidden=continue::ctiInput,tel::%TEL,ext::<内線番号>,uid::%ID,pw::%PWD

* 顧客情報連携先

http://<PBX_IP>:18080/redir/clredir.cgi?hidden=continue::Client,tel::,ext::<内線番号>,cls::,uid::%ID,pw::%PWD

■ [ポップアップの代替機能として利用する]をチェックする/しない場合の挙動の違い

- ・代替機能として利用しない場合：着信するとまずポップアップウィンドウが起動します。



- ・代替機能として利用する場合：着信するとポップアップウィンドウは起動せずに WEB ブラウザをします。



・外部アプリケーションとの連携

他社製のアプリケーションと連携します。

[電話受付]押下時、[顧客情報]選択時、[電話帳]選択時にそれぞれ設定したアプリケーションを設定したパラメータ付で起動します。

[ポップアップの代替機能として利用する]がチェックされている場合、着信情報ウィンドウを表示する代わりに指定したアプリケーションが起動します。

[電話帳連携機能を利用する]がチェックされていない場合、MOT/Phone POP-UP 標準の電話帳が呼び出されます。



[パラメータ]欄には、ファイルを起動する際に付与するパラメータを設定します。

- 電話受付時連携先のみ、「%TEL」と入力した部分は相手電話番号に変換されます。また、「%PCPI」と入力した部分は着信自局番号に、「%CALLID」と入力した部分は着信時の外線 Call-ID (着信呼を一意に識別するための文字列)に変換されます。
- 「%ID」と入力した部分は MOT/Cloud との連携機能で設定した ユーザ ID に変換されます。
- 「%PWD」と入力した部分は MOT/Cloud との連携機能で設定した パスワード に変換されます。

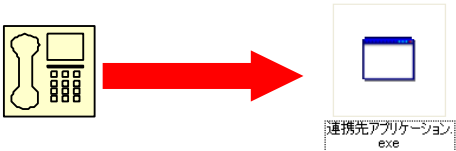
項目名称	機能説明
電話受付連携先	[電話受付]を押下した時に起動するアプリケーションを設定します。
顧客情報連携先	[顧客情報]を選択した時に起動するアプリケーションを設定します。
電話帳連携先	[電話帳]を選択した時に起動するアプリケーションを設定します。 標準の電話帳を利用することも可能です。

■ [ポップアップの代替機能として利用する]をチェックする/しない場合の挙動の違い

・代替機能として利用しない場合：着信すると、まずポップアップウィンドウが起動します。



・代替機能として利用する場合：着信するとポップアップウィンドウは起動せずに指定した処理を実行します。

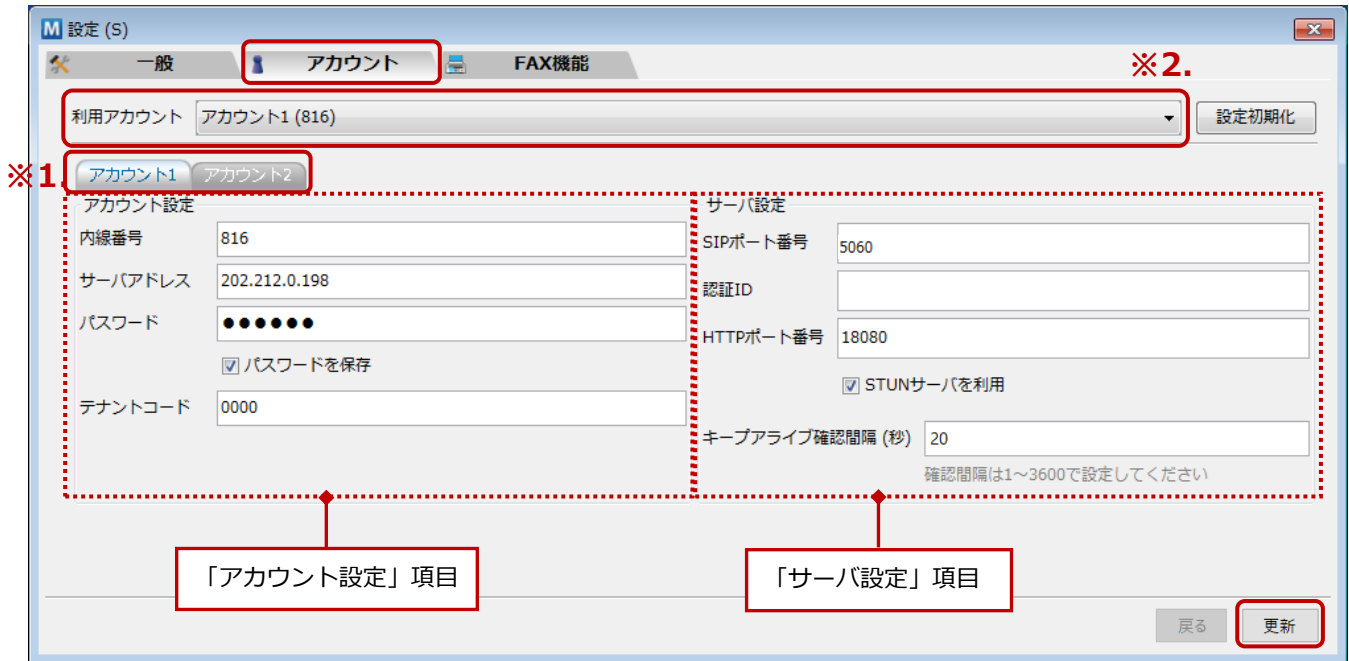


5-2. [アカウント]タブ

表示された設定ウィンドウの[アカウント]タブを選択します。

アプリケーションが使用する内線番号、パスワードや使用する MOT/PBX または MOT/TEL のポート番号設定等を行います。

入力後、[更新]ボタンを押下します。



※1. アカウントは最大 2 個設定でき、どちらかを使用します。

各アカウント設定は[アカウント 1][アカウント 2]タブを切り替えて行います。

※2. アカウントを 2 つ設定した場合、「利用アカウント」項目で、利用するアカウントを選択します。

詳細は次の「[利用アカウントの切り替え](#)」ページをご参照ください。

■ [アカウント]タブの項目

項目名称	機能説明
内線番号	使用する内線番号を入力します。
サーバアドレス	使用する MOT/PBX または MOT/TEL のアドレスを入力します。 ソフトフォン利用の場合は、127.0.0.1 (初期値) を入力します。
パスワード	パスワードを入力します。
パスワードを保存	パスワードを保存する場合にチェックします。
テナントコード	使用するテナントコードを入力します。 ※MOT/TEL を利用する場合のみ入力
SIP ポート番号	サーバの SIP ポート番号を入力します。ソフトフォン利用の場合はソフトフォンのクライアント SIP ポートと同じ値を入力します。
認証 ID	認証に使用する ID を入力します。(空欄の場合は内線番号を使用します)
HTTP ポート番号	MOT/PBX の HTTP ポート番号を入力します。(初期値 18080)
STUN サーバ利用	NAT 越えを有効にします。
キープアライブ確認間隔	キープアライブ確認を行う間隔を入力します。
[設定初期化]ボタン	選択中アカウントの設定を削除します。 詳細は次の「 アカウントの削除 」ページをご参照ください。

■ アカウントの削除

[設定初期化]ボタンを押すと、アカウント設定の初期化確認メッセージが表示されます。
[はい]を選択すると、その時表示しているアカウントの設定が初期化されます。



■ 利用アカウントの切り替え

アカウントを2個設定していて利用アカウントを変更する場合、「利用アカウント」項目で選択アカウントを変更し、[更新]ボタンを押します。
設定が保存された時点で、今まで使用していたアカウントのサーバに対して登録解除を行い、同時に、新たな利用アカウントをサーバ登録します。

※[一般]タブの「連動電話機」で「ソフトフォン」を利用している場合は、利用アカウントの切り替えはソフトフォン側で行います。

本アプリケーションのアカウントを変更する必要はありません。



5-3. [FAX 機能]タブ

表示された設定ウィンドウの[FAX機能]タブを選択します。

[FAX機能]タブは、MOT/FAX 機能をご利用になる際に、設定が必要です。

FAX メールを送受信に使用するサーバ、ID、メールアドレスや、FAXメールの自動受信設定、保存先設定を行います。設定は即座に反映されます。



■ 「FAX 機能」項目

項目名称	機能説明
FAX メール送信設定	
SMTP サーバ	当社から発行される SMTP サーバを入力します (初期値 : smtp.mot-net.com)。
ポート番号	SMTP サーバポート番号を入力します (初期値 : 587)。
送信者メールアドレス	FAXメールの送信者欄に表示するメールアドレスを入力します。
FAX メール送信先 アドレス	当社から発行される MOT/FAX 送信用メールアドレスを設定します。
認証 ID	SMTP サーバの認証 ID を設定します。
パスワード	SMTP サーバの認証パスワードを設定します。
FAX メール受信設定	
POP サーバ	FAX メール受信用メールアドレスアカウントで使用する POP サーバを入力します。
ポート番号	POP サーバポート番号を入力します (初期値 : 110)。
<input type="checkbox"/> SSL 接続を利用	POP サーバに接続する際に SSL を使用する場合にチェックを入れます。
認証 ID	POP サーバの認証 ID を設定します。 ※Gmail は利用できませんので、設定しないようお願いいたします。
パスワード	POP サーバの認証パスワードを設定します。 ※Gmail は利用できませんので、設定しないようお願いいたします。
サーバタイムアウト(秒)	POP サーバとの接続のタイムアウト時間を設定します (初期値: 10)。
自動受信	FAX がメールサーバに届いた時に、自動受信・保存を行うかを選択します。 ■自動受信「する」 自動で FAX をダウンロードし、「保存先フォルダ」に保存します。

	<p>■自動受信「しない」</p> <p>FAXが届いた時に、受信メッセージをポップアップ表示します。 ポップアップ表示のメッセージ内にある[ダウンロード]ボタンをクリックすることで、PC内に受信・保存することができます。</p> <p>※FAX受信操作については、「FAX受信機能」ページをご参照ください。</p>
定期受信間隔（分）	<p>「自動受信」項目で、「する」で設定している場合、何分間隔で自動受信の処理を行うかを入力します。</p> <p>本項目で設定した時間ごとに、FAXの受信および保存先フォルダへの保存を自動で行います。</p>
保存先フォルダ	<p>受信したFAXを保存するフォルダを選択します。</p> <p>保存先フォルダは、FAXを受信したPC内のフォルダを指定してください。</p> <p>※NASなど外部ネットワーク機器の共有フォルダへの保存は非推奨となっております。</p>
受信したFAXをサーバから削除	<p>FAXメール受信後にメールをサーバから削除する場合は、チェックを入れます。</p>
受信待機時間	<p>FAX自動受信実行までの待機時間を設定します。</p>



FAX機能を利用するには、当社から発行されるメールアカウントが必要です。
ひかり電話の契約（FAX専用番号を最低1個用意）が必要です。



※以下の設定でご利用の場合（v5.1.0以降）

- ・弊社側で設定する画面で、「POPUP内線番号」の設定なし（SIPパケット受信なし）
- ・「FAXメール受信設定」の「認証ID」：複数スタッフで、同じメールアドレスを設定
- ・「自動受信」項目：「する」を選択
- ・「定期受信間隔（分）」項目：時間を設定

「FAXメール受信設定」の「認証ID」に設定しているメールアドレス宛てに、
「定期受信間隔（分）」で一番短い時間で設定しているスタッフのみがFAXの受信、
および保存先フォルダへの保存を行い、それ以外のスタッフは受信しない動作となります。

6. 着信時の動作

MOT/PBX を経由して外線着信した場合、相手先の情報が表示されます。

着信の表示には、連携用のメインウィンドウ「着信情報ウィンドウ」、着信した事を簡易的に通知する「着信メッセージ」と、クラウドで相手先の情報を表示する「MOT/Cloud」、外部 CTI システムにブラウザで接続する「外部 URL」、指定アプリケーションを起動する「外部アプリケーション」の 5 種類があります。

6-1. 着信情報ウィンドウ画面

着信もしくは通話開始時にポップアップする、発信元の情報を表示するメインウィンドウです。

[設定]-[一般]タブにて、着信時に表示/通話開始時に表示、どちらかを選んで設定することができます。



項目名称	機能説明
①相手番号	発信元の番号を表示します。 相手番号をクリックすると、相手番号をコピーすることができます。 動作の詳細は、次ページをご参照ください。
②顧客名	顧客情報を表示します。 番号に関連付けられた顧客名、住所を表示します。情報がない場合は「未登録」と表示されます。
③着信先	着信先を表示します。 ※[設定]-[一般]タブで「着信先番号を表示」にチェックがある場合に、着信先の番号が表示されます。 ※顧客名称～最大 25 文字、着信先表示の場合は一部文字が重なります。 ※住所～最大 48 文字、着信先表示の場合は一部文字が重なります。 また、顧客名称が 1 列以上になる場合はその分文字が表示されません。
④担当 1 担当 2	優先着信先に設定されている内線番号および名称を表示します。情報がない場合は「未登録」と表示されます。
⑤前回通話	前回の通話終了時刻とその時の通話者名を表示します。
⑥[通話履歴]ボタン	発信元との通話履歴を表示します。 一週間分の発着信の履歴を確認することができます。 ※MOT/TEL (プラチナ・プレミアムプランは除く) をご利用のお客様は、本ボタンをご利用いただけません。
⑦[WEB 検索]ボタン	着信相手の情報(住所、名称、電話番号)を元に WEB 検索を行います。 URL の情報が登録されている場合はその URL の画面を表示します。
⑧[電話受付]ボタン	顧客情報を編集する画面を表示します。 MOT/Cloud サービス利用時は、電話受付情報と顧客情報を表示します。

<相手番号をコピーする>

着信情報ウィンドウ画面の相手番号をコピーすることができます。
コピーし、別箇所にペーストしたい場合などにご利用ください。

- ① 「相手番号」欄をクリックします。



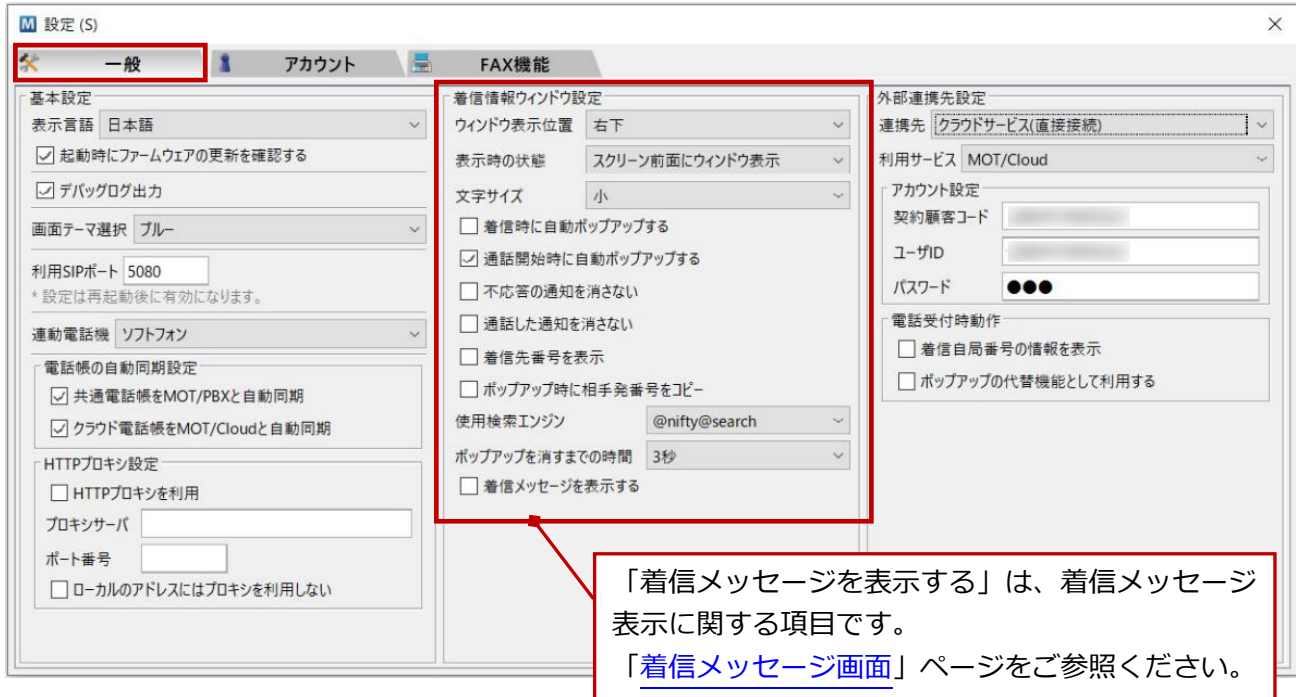
- ② クリックすると、相手番号が選択中の状態になり、「コピーしました。」のメッセージが表示されたら、コピー完了です。



- ③ [OK]をクリックし、メッセージ画面を閉じると、相手番号の選択状態が解除され、元の状態に戻ります。



着信情報ウィンドウの表示に関する設定は、**[設定]-[一般]-[着信情報ウィンドウ設定]**の各項目の設定によって、以下のように動作します。



■ **[着信情報ウィンドウ設定]**の各項目

項目名称	動作説明
ウィンドウ表示位置	PC 画面のどの位置に着信情報ウィンドウを表示するか選択します。
表示時の状態	着信情報ウィンドウ表示時に他のウィンドウより前または後ろに表示するか、あるいは最小化して表示するかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [スクリーン前面にウィンドウ表示] を選択した場合 最前面に着信情報ウィンドウを表示します。 ・ [スクリーン背面にウィンドウ表示] を選択した場合 他のウィンドウより後ろに着信情報ウィンドウを表示します。 ・ [ウィンドウを最小化して表示] を選択した場合 タスクバーにアイコンを表示します。 クリックすると着信情報ウィンドウが表示されます。
文字サイズ	着信情報ウィンドウの文字サイズを、大・中・小から選択できます。 文字サイズ変更の対象項目は、「相手番号」と「顧客名」です。 詳細・画面イメージは、次ページをご参照ください。
着信時に自動ポップアップする	チェックを入れると、着信があった際に着信情報ウィンドウを表示します。
通話開始時に自動ポップアップする	チェックを入れると、通話を開始した際に着信情報ウィンドウ表示します。
不応答の通知を消さない	チェックを入れると、着信に回答しなかった際の着信情報ウィンドウは、手動で閉じない限り表示され続け、着信をする度に新しいウィンドウを表示します。 ※「通話開始時に自動ポップアップする」にチェックをつけている場合、この項目は無効です。
通話した通知を消さない	チェックを入れると、応答した通話の着信情報ウィンドウは、通話終了後も自動的に消えず、手動で閉じない限り表示され続けます。 着信をする度に新しいウィンドウを表示します。

着信先番号を表示	チェックを入れると、着信情報ウィンドウの画面左下に、着信先番号を表示します。※ナカヨ機器への着信には非対応です。
ポップアップ時に相手発番号をコピー	チェックを入れると、着信情報ウィンドウが表示されたタイミングで相手番号をコピーした状態になります（クリップボードにコピー）。コピーした番号はテキストエディタ等に貼り付けることができます。
使用検索エンジン	着信情報ウィンドウの[WEB 検索]ボタン押下で表示する検索エンジンを選択します。 ※「@nifty@search」のみ、動作しません。
ポップアップを消すまでの時間	通話終了後に、着信情報ウィンドウが消えるまでの時間を選択します。表示する時間を[0 秒][1 秒][2 秒][3 秒][4 秒][5 秒][3 0 秒][6 0 秒][1 2 0 秒][1 8 0 秒]から選択します。 ※「不応答の通知を消さない」、「通話した通知を消さない」にチェックをつけている場合、本項目で選択している時間に限らず、着信情報ウィンドウは消えません（設定が無効です）。

文字サイズの変更時の着信情報ウィンドウ画面イメージ

※サイズ変更の対象は、「相手番号」と「顧客名」の2項目です。



文字サイズが中、大の場合、「顧客名」のフリガナ、顧客名の文字数によっては表示が隠れて見にくい場合がございます。運用に応じて、文字サイズを選択してご利用ください。

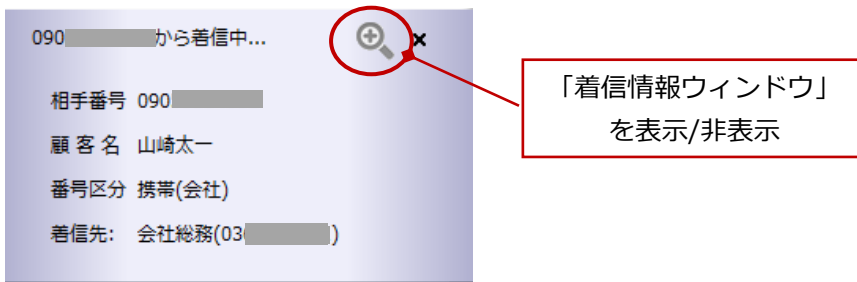
6-2. 着信メッセージ画面

外線からの着信時に、PC画面右下に「着信メッセージ」を表示することができます（初期値：無効）。

「着信メッセージ」には、発信元番号と、番号に関連付けられた顧客名、番号区分を表示します（設定により、「着信自局番号」の表示も可能です）。



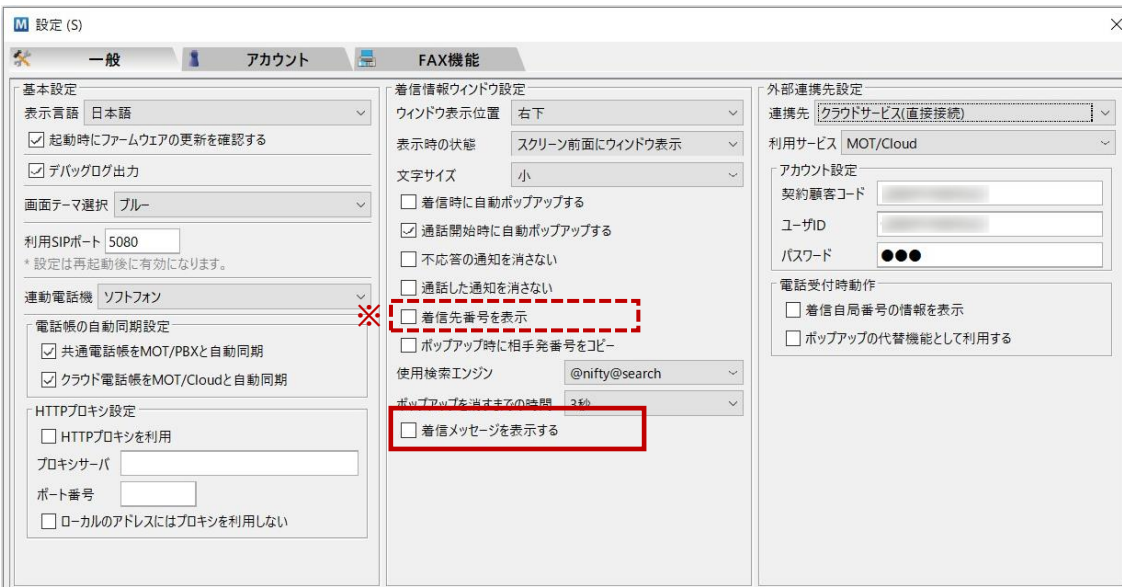
「着信メッセージ」右上の アイコンをクリックすると、通話開始前に着信情報ウィンドウを表示します（着信情報ウィンドウ表示時にクリックすると、ウィンドウを非表示にします）。



■着信時に PC 画面右下に「着信メッセージ」を表示する場合は、**[設定]-[一般]**で**[着信メッセージを表示する]**にチェックを入れます。

「着信メッセージ」には、発信元番号と、番号に関連付けられた顧客名、番号区分を表示します。

※**[設定]-[一般]**タブで**[着信先番号を表示]**にチェックを入れている場合、着信自局番号も表示します。



6-3. MOT/Cloud の電話受付画面

着信時に、直接 MOT/Cloud の画面を表示するウィンドウです。

[設定]-[一般]で[外部連携先設定]の[連携先]を「MOT/Cloud」設定している場合、
[電話受付時動作]-[ポップアップの代替機能として利用する]にチェックを入れると、
着信時に MOT/Cloud の画面を表示します。

※上記は、MOT シリーズの PBX を設置している場合の設定です。

MOT/TEL（プラチナ・プレミアムプランは除く）を利用している場合は、

[連携先]を「クラウドサービス(直接接続)」を選択 + [利用サービス]で「MOT/Cloud」に設定し、
[電話受付時動作]-[ポップアップの代替機能として利用する]にチェックを入れます。



「MOT/Cloud の電話受付」画面

The screenshot shows the 'MOT/Cloud 電話受付' interface. At the top, there are navigation links: '見込み客の作成', '取引先の作成', '取引先担当者の作成', and 'ログイン'. The main content area is divided into several sections:

- Call Details:** Shows the sender number (0312345678), reception time (2014/06/11 19:03:12), and a list of recipients (e.g., 'オフィス24').
- 電話履歴の作成 (Call History Creation):** A form with fields for '区分' (Division), '件名*' (Subject), '関連者' (Related Party), and '関連先' (Related Party), along with a '説明' (Description) text area and a 'メール送信先' (Email Recipient) field.
- 取引先の詳細 (Recipient Details):** A table showing information for 'オフィス24' (Office 24), including address, phone numbers, and employee details.
- 電話履歴 (Call History):** A section indicating that no call history is currently registered.
- 取引先担当者 (Recipient Staff):** A section indicating that no staff members are currently registered for this recipient.
- 商談 (Business Conversations):** A section indicating that no business conversations are currently registered.

※MOT/Cloud の使用方法については別紙「MOT/Cloud 操作マニュアル」をご参照ください。

6-4. 外部 URL

[電話受付時連携先の URL](#)を設定することで、着信時に任意の CTI システムの画面を表示することが可能です。

[設定]-[一般]で**[外部連携先設定]**の**[連携先]**を**[外部 URL]**に設定し、**[電話受付時連携先]-[ポップアップの代替機能として利用する]**にチェックを入れ、**[URL]**には下記のように入力します。

```
http://<PBX_IP>:18080/redir/clredirect.cgi?hidden=continue::ctiInput,tel::%TEL,ext::<内線番号>,uid::%ID,pw::%PWD
```

6-5. 外部アプリケーション

[電話受付時の連携アプリケーション](#)を設定することで、着信時に情報ウィンドウを表示する代わりに、指定のアプリケーションを実行することが可能です。

[設定]-[一般]で**[外部連携先設定]**の**[連携先]**を**[外部アプリケーション]**に設定し、**[電話受付時連携先]-[ポップアップの代替機能として利用する]**にチェックを入れ、**[ファイル]**に実行するアプリケーションのパスを、**[パラメータ]**にはアプリケーション実行時に設定するパラメータを入力します。

6-6. 着信ポップアップのパターン

MOT/PBX を利用した場合の着信ポップアップ（CTI）機能パターンの説明となります。

(1) 通常の着信ポップアップ（応答後表示設定）



(2) 直接 CTI を開く着信ポップアップ（応答後表示設定）



(3) 直接 CTI を開く着信ポップアップ（応答前設定）



7. 顧客情報の新規登録



タスクトレイの **M** アイコンを右クリックしてメニューを表示し、「顧客情報」の項目をクリックすると、ブラウザを開き、顧客情報設定画面を表示します。

[設定] - [一般] タブの「連携先」で選択している連携先の顧客情報を表示します。

例 1) 「連携先」が MOT/PBX の場合
MOT/PBX の顧客情報設定画面

連絡先情報の設定

▶ [一覧へ]

ユーザID	
名称	<input type="text"/>
フリガナ	<input type="text"/>
郵便番号(7桁)	<input type="text"/>
国番号	81
都道府県	北海道
市区町村・番地	<input type="text"/>
会社名	<input type="text"/>
メールアドレス	<input type="text"/>
URL	<input type="text"/>
FAX	<input type="text"/>
ユーザ区分	外部個人
優先着信先	自動判定
着信先番号	<input type="text"/>
備考	<input type="text"/>

◆登録番号

区分	会社
電話番号	<input type="text"/>

番号追加 番号修正 番号全削除

情報保存 情報削除

例 2) 「連携先」がクラウドサービス（直接接続）、利用サービスが「MOT/Cloud」の場合

MOT/Cloud

HOME 見込み客 取引先 取引先担当者 電話メモ ToDo カレンダー 名簿 名刺 メール配信 クラウド

取引先の一覧

対象の取引先はありません。

取引先名	所有者	住所
電話番号	種別	会社形態
評価	業種	備考
区分		

タグ 追加 全削除 いずれかを含む

検索 クリア 新規作成 CSVインポート

8. 電話帳機能



タスクトレイアイコンを右クリックしてメニューを表示し、「電話帳」の項目をクリックすると、電話帳が表示されます。

また、MOT/Phoneの「電話帳」ボタンをクリックすることで、同じく電話帳を表示させることができます。



8-1. 電話帳画面

電話帳は、「個別電話帳」「共通電話帳」「クラウド電話帳」の3種類ございます。



① 個別電話帳

自身の電話帳に登録している個別の電話帳です。

他の方と共有せず、自身の電話帳のみに登録している連絡先が表示されます。

② 共通電話帳

ご利用のMOT/PBXのユーザ設定画面にある「電話帳」を表示します。

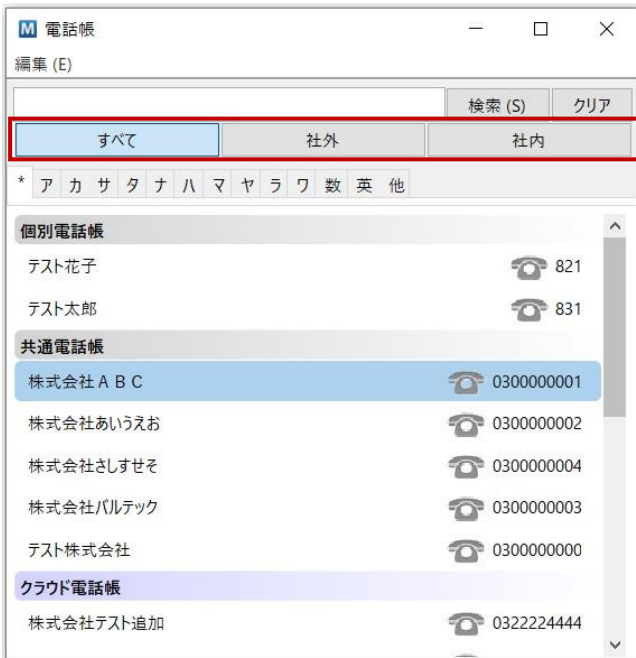
③ クラウド電話帳

[設定]-[一般]タブ-「外部連携先設定」項目にて、連携先「MOT/Cloud」、または「クラウドサービス(直接接続)」+利用サービス「MOT/Cloud」を選択し、MOT/Cloud(またはMOT/HG)のアカウントを設定している場合、設定しているMOT/Cloudの「クラウド電話帳」、またはMOT/HGの「共通電話帳」を表示します。

- 「クラウド電話帳」をご利用の場合、電話帳の「すべて」「社外」「社内」タブで、電話種別ごとに分けて表示します。

※電話帳の「社外」「社内」タブの表示は、「クラウド電話帳」のみ有効です。

「個別電話帳」「共通電話帳」は、「すべて」タブに登録されている全ての電話帳を表示し、「社外」「社内」タブには、何も表示されません。

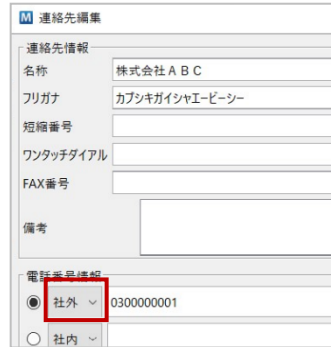


<電話種別の確認方法>

- ① 連絡先を右クリックし、連絡先編集を選択



- ② 連絡先編集画面の電話番号情報で確認



- ・「すべて」タブ：全ての連絡先（電話番号、または FAX 番号が登録されているもの）を表示します。
- ・「社外」タブ：電話種別が「社外」で登録されている電話番号が 1 つ以上、または FAX 番号が登録されている連絡先のみを表示します。
- ・「社内」タブ：電話種別が「社内」で登録されている電話番号が 1 つ以上登録されている連絡先のみを表示します。

※MOT/Cloud、または MOT/HG の電話帳は、MOT/Phone POP-UP 側の電話種別名が異なります。
MOT/Cloud・MOT/HG 側にて、「外線」で登録されているものは「社外」タブ、「内線」で登録されているものは「社内」タブにそれぞれ反映します。
※MOT/HG 側にて「FAX」で登録されているものは、「社外」タブに反映します。
連絡先編集画面では、「FAX 番号」項目に FAX 番号が表示されている状態です。



電話番号情報の項目には、登録がない状態

「社外」タブ



「社内」タブ



8-2. 連絡先を検索する

連絡先の名称、フリガナ、登録電話番号で絞り込みを行います。絞り込みは文字列の前方一致で行います。



項目名称	機能説明
① 入力文字列検索	[名称][フリガナ][電話番号]のいずれかが、検索文字列に入力した文字列に一致する連絡先のみを表示します。 「クリア」を押下することで、検索結果を初期化します。
② 各タブ	「すべて」、「社外」、「社内」タブで、電話種別ごとに分けて表示します。 ※「社外」「社内」は、クラウド電話帳のみ有効です。 タブの詳細は、前ページをご参照ください。
③ フリガナ検索	選択タブによるフリガナの五十音検索を行います。 先頭の[*]を選択した場合は、全ての連絡先が表示されます。

8-3. 電話帳から発信する

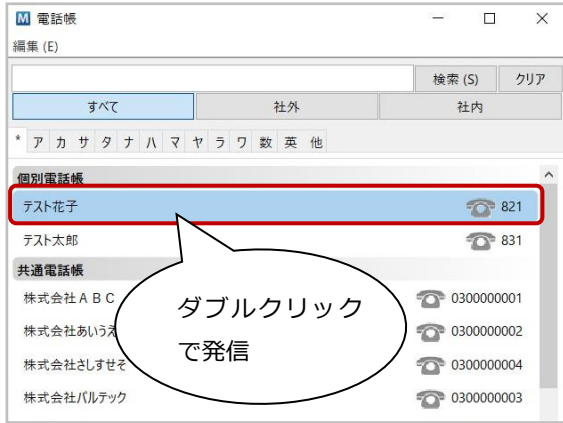
電話帳内の連絡先をダブルクリックすることで MOT/Phone からの発信ができます。

※連絡先に複数番号が登録されている場合は、優先番号に設定した番号に対して発信します。

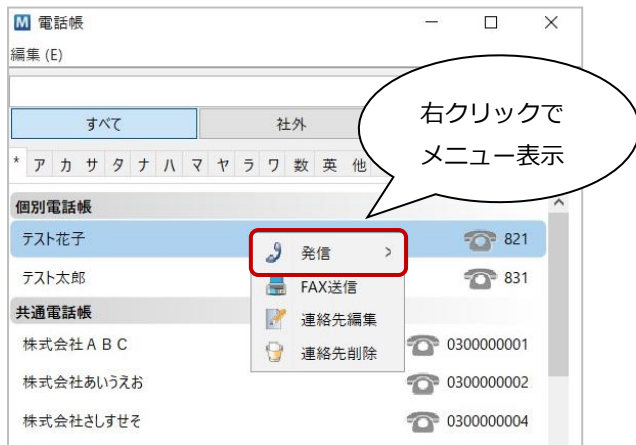
※[外部連携設定]にて、電話帳の連携先を指定していた場合、そちらが呼び出されます。

(電話帳に登録した短縮番号を利用して MOT/Phone から発信することも可能)

■ダブルクリックで、発信



また、右クリックで表示するメニューから「発信」を選択して、発信をすることも可能です。



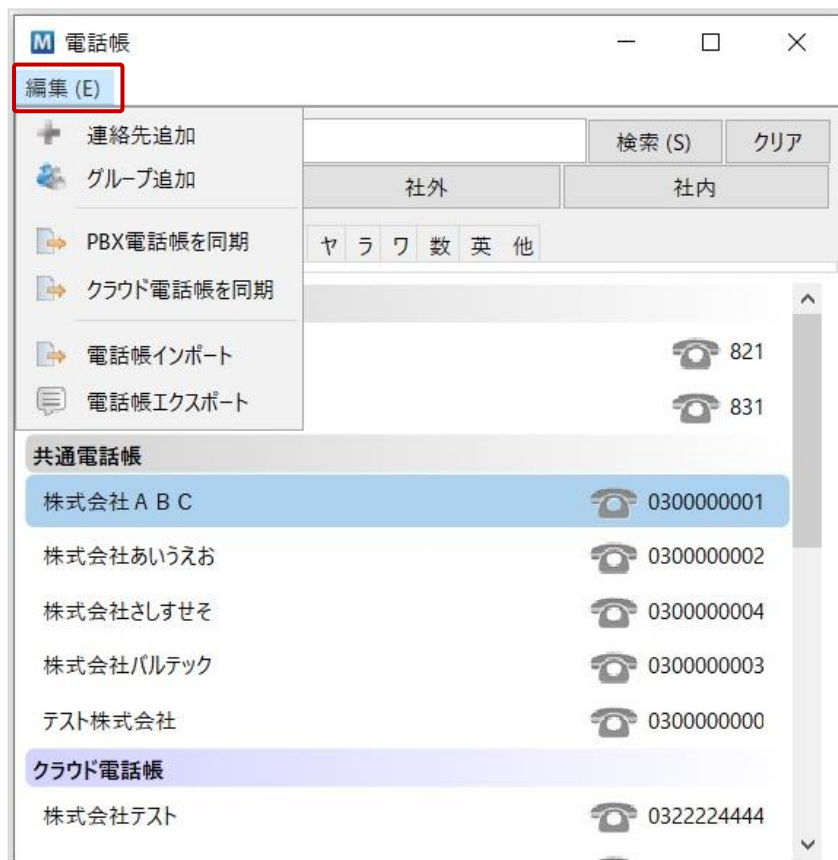
■右クリック表示メニュー

項目名称	機能説明
発信	MOT/Phone より発信します。 複数番号登録時は、電話番号を選択して発信できます。 ※「FAX 番号」のみの登録で、電話番号が登録されていない連絡先には、表示されません。 FAX 番号のみの連絡先は、クラウド電話帳利用時のみ存在します。
連絡先編集	編集画面を表示します。
連絡先削除	該当データを削除します。
FAX 送信	FAX 送信ウィンドウを表示します。 ※「FAX 番号」が登録されている場合のみ、表示します。

Skype 等、他のクリック発信対応アプリがインストールされていると、電話帳のクリック発信機能が利用できない場合があります。クリック発信出来ない場合は、他のアプリをアンインストール後 MOT/Phone の再インストールが必要です。

8-4. 電話帳メニュー

電話帳ウィンドウ画面右上の[編集]をクリックするとメニューが表示されます。



■ 電話帳メニュー

項目名称	機能説明
連絡先追加	「個別電話帳」に、連絡先を登録します。
グループ追加	グループを設定することで、「個別電話帳」に登録している連絡先を、グループ毎に管理することができます。
PBX 電話帳を同期	POPUP (「ソフトフォン利用の場合はソフトフォン」) が番号を登録している MOT/PBX の共通電話帳を取得します。
クラウド電話帳を同期	MOT/Cloud の電話帳を取得します。 ※[設定]-[一般]-[外部連携先設定]で、連携先「MOT/Cloud」、または「クラウドサービス(直接接続)」 + 利用サービス「MOT//Cloud」を選択し、MOT/Cloud (または MOT/HG) のアカウント情報が設定済の場合に表示されます。
電話帳インポート	エクスポートした CSV ファイルより、連絡先を登録します。
電話帳エクスポート	連絡先を CSV ファイルにて保存、出力します。

■ 連絡先を登録する

[編集]-[連絡先追加]より、連絡先を登録します。

ここで登録した連絡先は、「個別電話帳」として登録されます。

「共通電話帳」「クラウド電話帳」への追加登録は、それぞれの同期先（MOT/PBX、MOT/Cloud、MOT/HG）で行ってください。

1つの連絡先に対して5番号まで設定できます。複数の電話番号を登録した場合、優先発信する番号を1つ選択します。

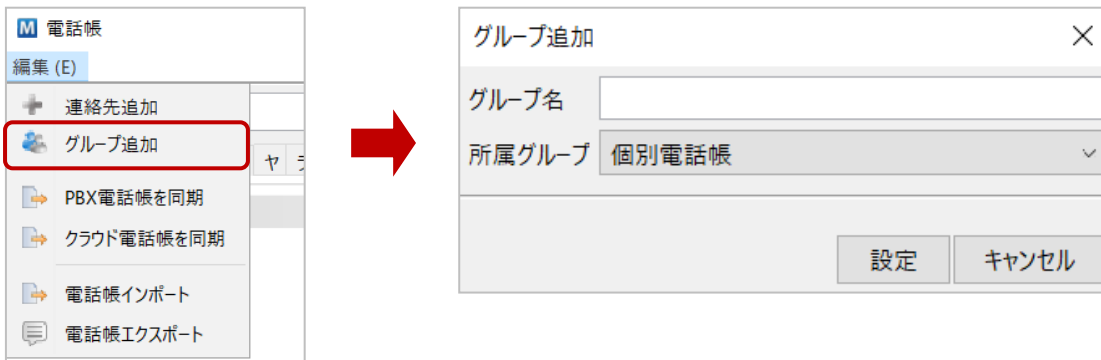
優先番号は連絡先一覧画面からのダブルクリック時、および短縮番号発信時の発信先として使用されます。



項目名称	機能説明
連絡先情報	
名称	電話帳一覧に表示します。
フリガナ	50音の絞り・並び順に利用します。
短縮番号	00~99, 000~500が設定できます。 MOT/Phoneから短縮番号をダイヤルすることで発信できます。 ※パーク保留のピックアップに使用する番号と同番号は使用しないでください。
ワンタッチダイヤル	未使用
FAX番号	FAX番号を登録します。
備考	備考を入力します。
電話番号情報	
優先番号の選択	優先番号として使用する番号を選択します。
社内/社外	登録する電話番号に対して、社内か社外を選択します。
電話番号	電話番号を登録します。
所属グループ	[個別電話帳]を選択してください。 ※[共通電話帳]を選択して連絡先を登録した場合、登録自体はされますが、MOT/PBXの手動および自動同期を行うと、ここで登録した連絡先は上書きで削除されます。「共通電話帳」への登録は、MOT/PBXのユーザ設定画面側から行ってください。

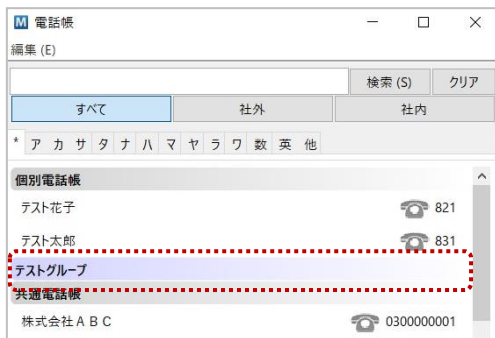
■ グループを登録する

[編集]-[グループ追加]より、グループを追加で作成することができます。
 ここで登録したグループは、「個別電話帳」内のグループとして登録されます。
 「個別電話帳」の中で、グループを分けたい場合にご利用ください。

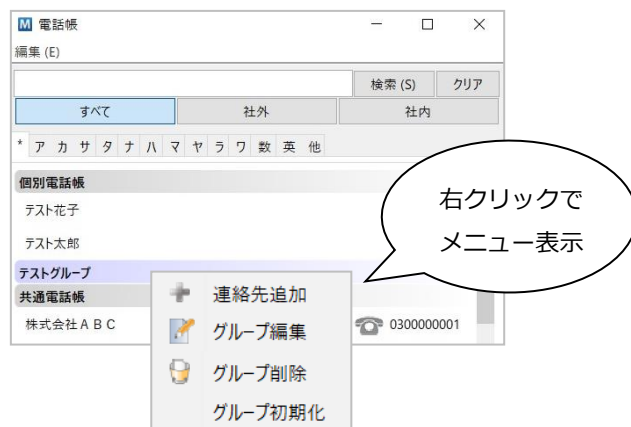


項目名称	機能説明
グループ名	グループの名称を設定します。
所属グループ	[個別電話帳]を選択してください。 ※[共通電話帳]を選択しても無効です。

■ 追加で作成したグループは、「個別電話帳」内に表示されます。



■ 追加で作成したグループを編集、削除する場合は、グループ名を右クリックし、表示メニューから「グループ編集」、「グループ削除」を選択します。

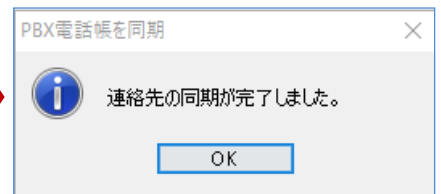
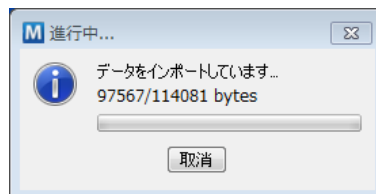
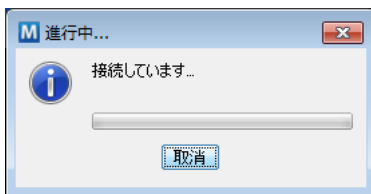
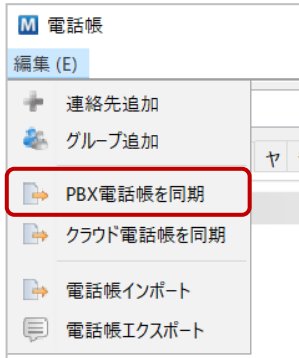


■ MOT/PBX 電話帳を手動同期する

[編集]-[PBX 電話帳を同期]より、MOT/PBX の共通電話帳データを取得して、MOT/Phone POP-UP の「共通電話帳」にデータを反映します。

自動更新の時間を待たず、すぐに更新をしたい場合は本メニューにて手動で更新を行ってください。

※連絡先件数が 1 万件を超える場合、PC のメモリ容量によっては正常動作しない場合があります。



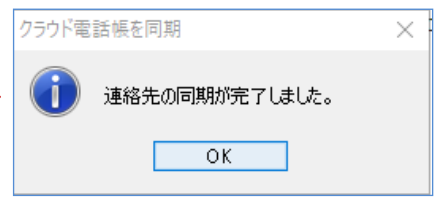
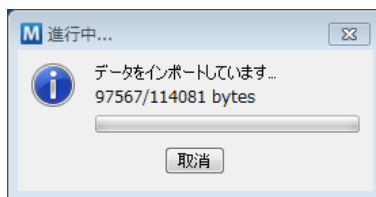
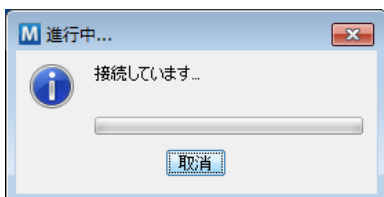
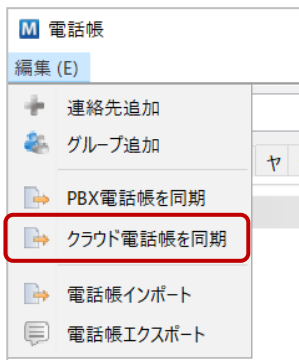
■ クラウド電話帳を手動同期する

[設定]-[一般]-[外部連携先設定]で、**[連携先]**で「**MOT/Cloud**」、または「**クラウドサービス(直接接続)**」を選択+**[利用サービス]**で「**MOT/Cloud**」を選択して、MOT/Cloud のアカウント設定を入力している場合のみ、**[編集]-[クラウド電話帳を同期]**のメニューが表示されます。

[クラウド電話帳を同期]メニューをクリックすると、MOT/Cloud の共通電話帳（または、MOT/HG の共通電話帳）データを取得して、「クラウド電話帳」グループのデータに反映します。

自動更新の時間を待たず、すぐに更新をしたい場合は本メニューにて手動で更新を行ってください。

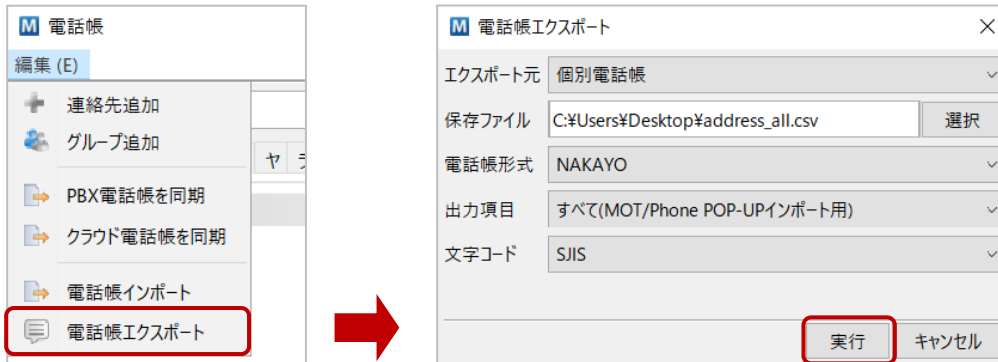
※連絡先件数が 1 万件を超える場合、PC のメモリ容量によっては正常動作しない場合があります。



※自動更新の設定については、「[電話帳の自動同期](#)」ページをご参照ください。

■電話帳のエクスポート

[電話帳]- [編集]-[電話帳エクスポート]より、電話帳データを CSV ファイルとして保存します。各項目に入力後に[実行]をクリックすると、「エクスポートしました。」のメッセージを表示します。指定した保存先に、電話帳の CSV ファイルが保存されていることをご確認ください。



■電話帳エクスポート項目

項目名称	機能説明
エクスポート元	データ出力する電話帳を、[個別電話帳][共通電話帳]から選択します。 ※データ出力はどちらでも可能ですが、電話帳の CSV インポートは[個別電話帳]のみ対象です。
保存ファイル	[選択]をクリック後、以下の手順でファイルの保存先と保存ファイル名を入力します。 ①データの保存先ファイルを選択します。 ②保存するファイル名を入力し、[開く]をクリックします。
電話帳形式	出力する電話帳形式を選択します。
出力項目	出力する項目を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ■すべて(MOT/Phone POP-UP インポート用) : POP-UP 電話帳の全項目を出力します。 出力した CSV ファイルは、[電話帳インポート]にて MOT/Phone POP-UP 電話帳のインポートが行えます。 ※エクスポートする CSV ファイル形式の詳細については、「電話帳のインポート」ページをご参照ください。 ■電話帳項目のみ(電話機インポート用) : 「電話帳形式」項目で選択した電話機の電話帳用ファイルとして出力します。 出力した CSV ファイルは、MOT/PBX のユーザ管理画面にて、「電話機形式」項目で選択した電話機形式に対して、電話帳インポートを行うことができます。
文字コード	「SJIS」を選択します。



「出力項目」にて、「電話帳項目のみ(電話機インポート用)」を選択した際、電話機の電話帳登録者名における最大文字数を超えた名前は、超えた分の文字列がカットされます。

■電話帳のインポート

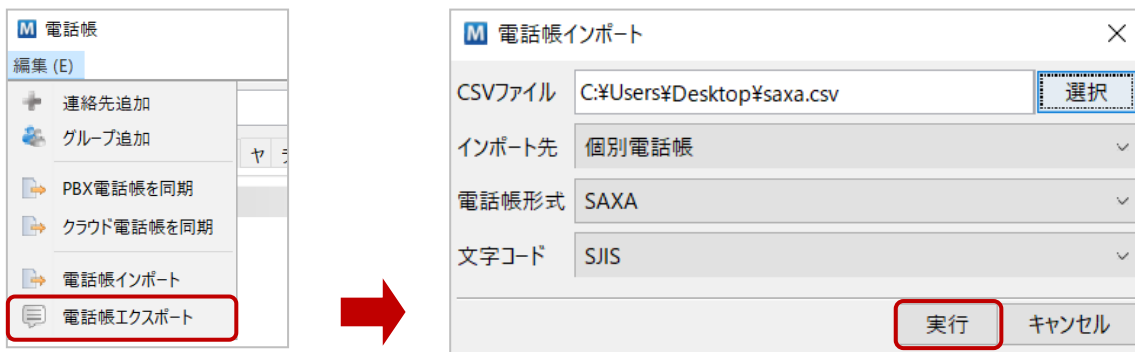
[電話帳]-[編集]-[電話帳エクスポート]にて出力した CSV ファイルを利用し、
[電話帳]-[編集]-[電話帳インポート]より、CSV ファイルをインポートして、電話帳データを更新します。
既存の電話帳データがある場合は、CSV ファイルに既存データを残したまま、新たに追加する電話帳のデータを追加してください。

インポートする CSV ファイルについては、電話帳形式に応じて以下の各ページをご参照ください。

- ①「[電話帳形式「SAXA」を選択した場合](#)」ページ
- ②「[電話帳形式「ナカヨ」を選択した場合](#)」ページ

※[電話帳エクスポート]の「出力項目」にて、「すべて(MOT/Phone POP-UP インポート用)」を選択して出力した CSV ファイルが本メニューのインポート対象です。
[電話帳エクスポート]の「出力項目」にて、「電話帳項目のみ(電話機インポート用)」を選択して出力した CSV ファイルは、MOT/PBX のユーザ管理画面にてインポートが可能となり、本メニューではインポートが行えませんのでご注意ください。
※CSV インポートの対象は「個別電話帳」のみです。
「共通電話帳」「クラウド電話帳」への追加登録は、それぞれの同期先で行ってください。

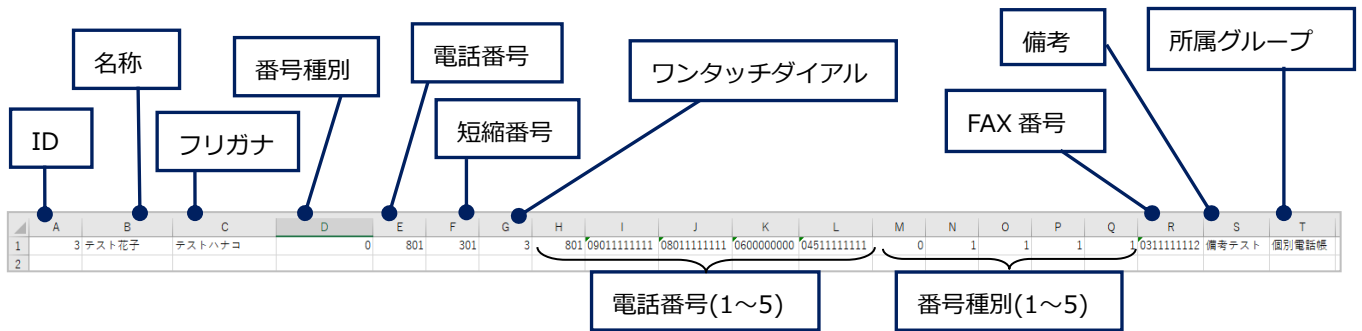
各項目に入力後に[実行]をクリックすると、「連絡先の同期が完了しました。」のメッセージを表示します。
CSV ファイルのデータが電話帳に保存されているか、ご確認ください。



■電話帳インポート項目

項目名称	機能説明
CSV ファイル	インポートする CSV ファイルを選択します。 ※[電話帳エクスポート]の「出力項目」にて、「すべて(MOT/Phone POP-UP インポート用)」を選択して出力した CSV ファイルがインポート可能です。
インポート先	インポート先は、[個別電話帳]を選択します。 ※[共通電話帳]を選択して連絡先を登録した場合、登録自体はされますが、MOT/PBX の手動および自動同期を行うと、CSV インポートで登録した連絡先は上書きで削除されます。「共通電話帳」への登録は、MOT/PBX のユーザ設定画面側から行ってください。
電話帳形式	インポートファイルがどの電話帳形式に準ずるかを選択します。 ■SAXA : SAXA 電話機の電話帳形式 ■NAKAYO : ナカヨ電話機の電話帳形式
文字コード	「SJIS」を選択します。 ※インポートする CSV ファイルの文字コードは SJIS (Shift-JIS) である必要がございます。

① 電話帳形式「SAXA」を選択した場合



列	項目名	説明
A	ID	連絡先の ID(未使用 ID)を入力します。
B	名称	連絡先の名称を入力します。
C	フリガナ	連絡先の名称フリガナを入力します。(全角カタカナ)
D	番号種別	E 列の電話番号の種別を表す数値 (0 or 1) を入力します。 [社内]の場合は 0、[社外]の場合は 1 を入力してください。
E	電話番号	電話番号を入力します。
F	短縮番号	短縮番号を入力します。(00~99, 000~500)
G	ワンタッチダイヤル	ワンタッチダイヤルを入力します。(1~30)
H~L	電話番号(1~5)	連絡先の電話番号を最大 5 つ登録できます。 電話番号が 1 つしかない場合は、E 列の電話番号を入力し、H~L 列は未入力にしてください。 電話番号が複数ある場合は、E 列の電話番号に入力した番号を H 列に入力し、I~L 列にその他の番号を入力してください (E 列の電話番号が、H~L 列に含まれるように入力)。 ※E 列の電話番号が H~L 列に含まれていない場合、E 列よりも本項目が優先されます。
M~Q	番号種別 (1~5)	H~L 列の各電話番号の種別を表す数値 (0or1) を入力します。 ※[内線]の場合は 0、[外線]の場合は 1 を入力 (未入力の場合は 0[内線])。 ※E 列の電話番号が H~L 列に存在する場合、D 列よりも本項目が優先されます。
R	FAX 番号	FAX 番号を入力します。
S	備考	連絡先の備考欄設定値です。
T	所属グループ名	「個別電話帳」を入力します。 空欄の場合、インポート先で選択している「個別電話帳」で保存されます。 ※エクスポートした CSV データの「エクスポート元」が「共通電話帳」の場合は、「共通電話帳」が入力された状態です。

※インポートする CSV ファイルの入力項目は、以下の「[連絡先の登録](#)」画面の各項目に当てはまります。

② 電話帳形式「ナカヨ」を選択した場合



列	項目名	説明
A	ID	連絡先の ID(未使用 ID)を入力します。
B	電話番号	電話番号を入力します。
C	フリガナ	連絡先の名称フリガナを入力します。(半角カタカナ)
D	名称	連絡先の名称を入力します。
E	グループ ID	連絡先のグループ ID を入力します。入力値は、1 (固定)です。
F	番号種別	電話番号の種別を表す数値を入力します。入力値は、1 (固定)です。
G~K	電話番号(1~5)	連絡先の電話番号を最大 5 つ登録できます。 電話番号が 1 つしかない場合は、B 列の電話番号に入力し、G~K 列は未入力にしてください。 電話番号が複数ある場合は、B 列の電話番号に入力した番号を G 列に入力し、H~K 列にその他の番号を入力してください (B 列の電話番号が、G~K 列に含まれるように入力)。 ※B 列の電話番号が G~K 列に含まれていない場合、B 列よりも本項目が優先されます。
L~P	番号種別 (1~5)	G~K 列の各電話番号の種別を表す数値 (0 or 1) を入力します。 ※[社内]の場合は 0、[社外]の場合は 1 を入力 (未入力の場合は 0[社内])。 ※B 列の電話番号が G~K 列に存在する場合、F 列よりも本項目が優先されます。
Q	短縮番号	短縮番号を入力します。(00~99, 000~500)
R	ワンタッチダイアル	ワンタッチダイアルを入力します。(1~30)
S	FAX 番号	FAX 番号を入力します。
T	備考	連絡先の備考欄設定値です。
U	所属グループ名	「個別電話帳」を入力します。 空欄の場合、インポート先で選択している「個別電話帳」で保存されます。 ※エクスポートした CSV データの「エクスポート元」が「共通電話帳」の場合は、「共通電話帳」が入力された状態です。

※インポートする CSV ファイルの入力項目は、以下の「[連絡先の登録](#)」画面の各項目に当てはまります。

8-5. 電話帳の自動同期

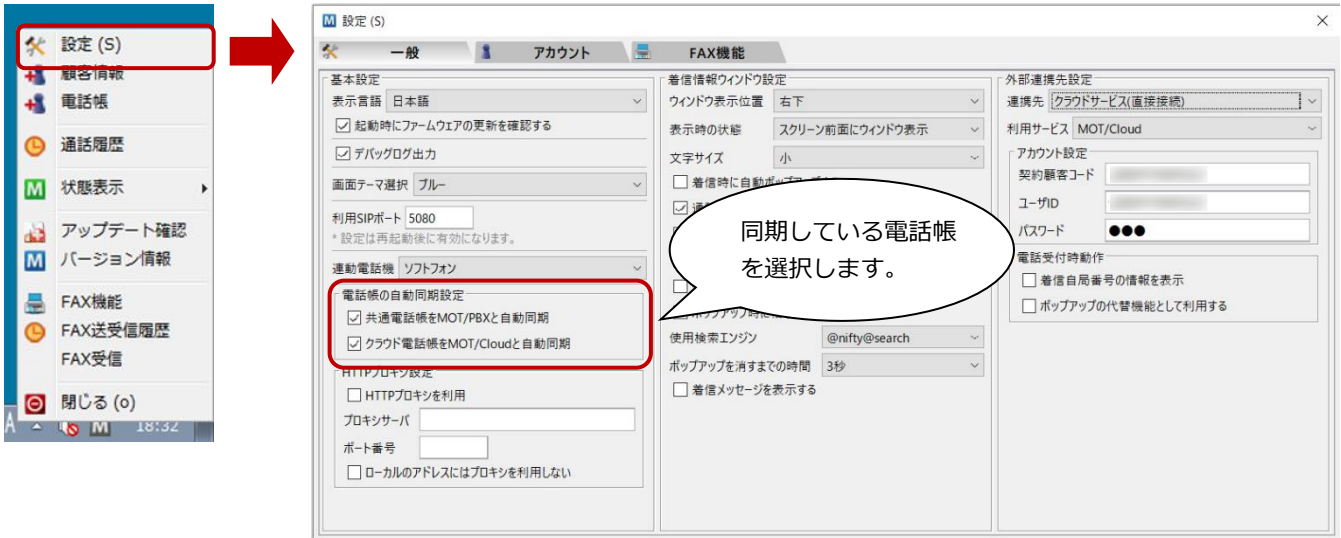
電話帳の自動同期を設定することで、MOT/Phone と同期している MOT/PBX の共通電話帳、MOT/Cloud のクラウド電話帳（または、MOT/HG の共通電話帳）のデータが更新された際に、1日に1回(深夜2時-5時の間)、自動的に電話帳を更新します。

また、MOT/Phone POP-UP アプリ起動時にも、自動的に更新します。

[設定]-[一般]-[電話帳の自動同期設定]の[共通電話帳を PBX と自動同期]、または[クラウド電話帳を MOT/Cloud と自動同期]にチェックを入れることで自動同期を利用することができます。

MOT/Phone と同期しているご利用の電話帳の自動同期を選択してください。

※設定変更後はアプリを再起動してください。



電話帳取得において、PC にインストールされているセキュリティソフトやネットワーク上に設置されている機器により電話帳の取得ができない場合がございます。
その際は、セキュリティソフト及びネットワーク機器の設定変更が必要になる場合がございます。

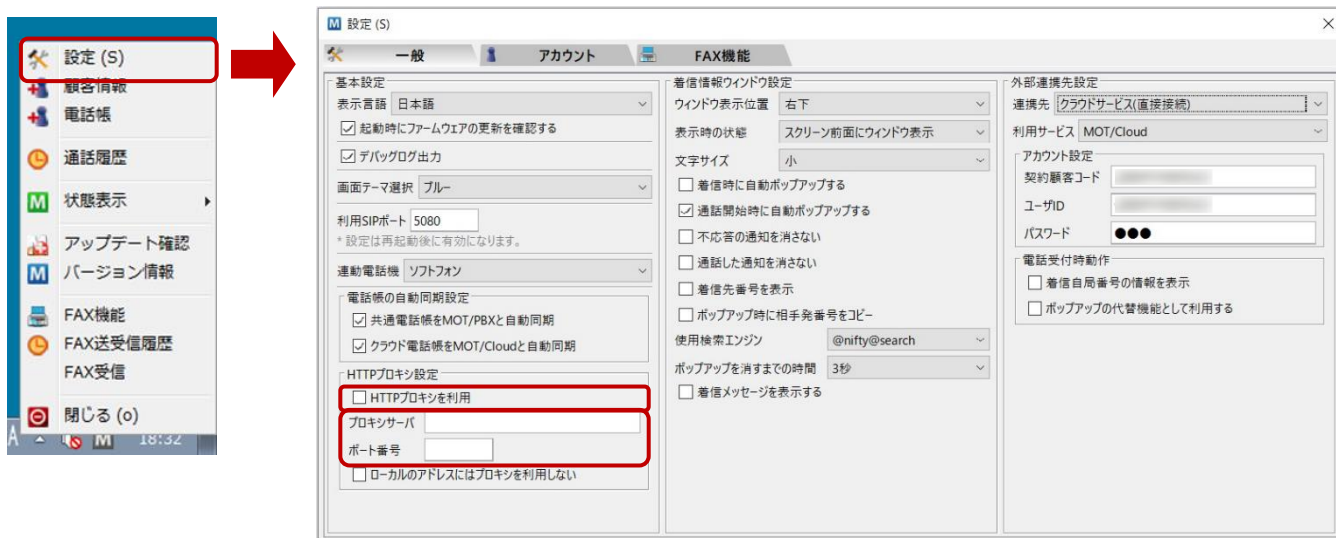


- ・ MOT/PBX の共通電話帳の自動更新を利用する場合、MOT/PBX のファームアップデートが必要な場合があります。
- ・ 共通電話帳を自動同期するように設定した場合、MOT/Phone POP-UP 側で追加、修正した内容は上書きされます。
- ・ 共通電話帳の自動取得が正常に完了していない場合、手動取得にて電話帳の更新を行ってください。
- ・ MOT/TEL (クラウド) は、MOT/PBX の共通電話帳を使用できません。

8-6. プロキシサーバを経由して電話帳情報を取得

共通電話帳、クラウド電話帳を取得する際に、プロキシサーバを経由して MOT/PBX、MOT/Cloud に接続する必要がある場合は、プロキシサーバの設定を行います。

[設定]-[一般]-[HTTP プロキシ設定]の[HTTP プロキシを利用]にチェックを入れ、[プロキシサーバ]、[ポート番号]に接続先の設定を入力することで、プロキシサーバ経由での接続を行うことができます。



MOT/PBX への接続の際に、PC がグローバルアドレス利用時にはプロキシ経由が必要で、ローカルアドレス利用時には必要がない、という場合は、**[ローカルのアドレスにはプロキシを利用しない]**にチェックを入れます。

9. 通話履歴の表示



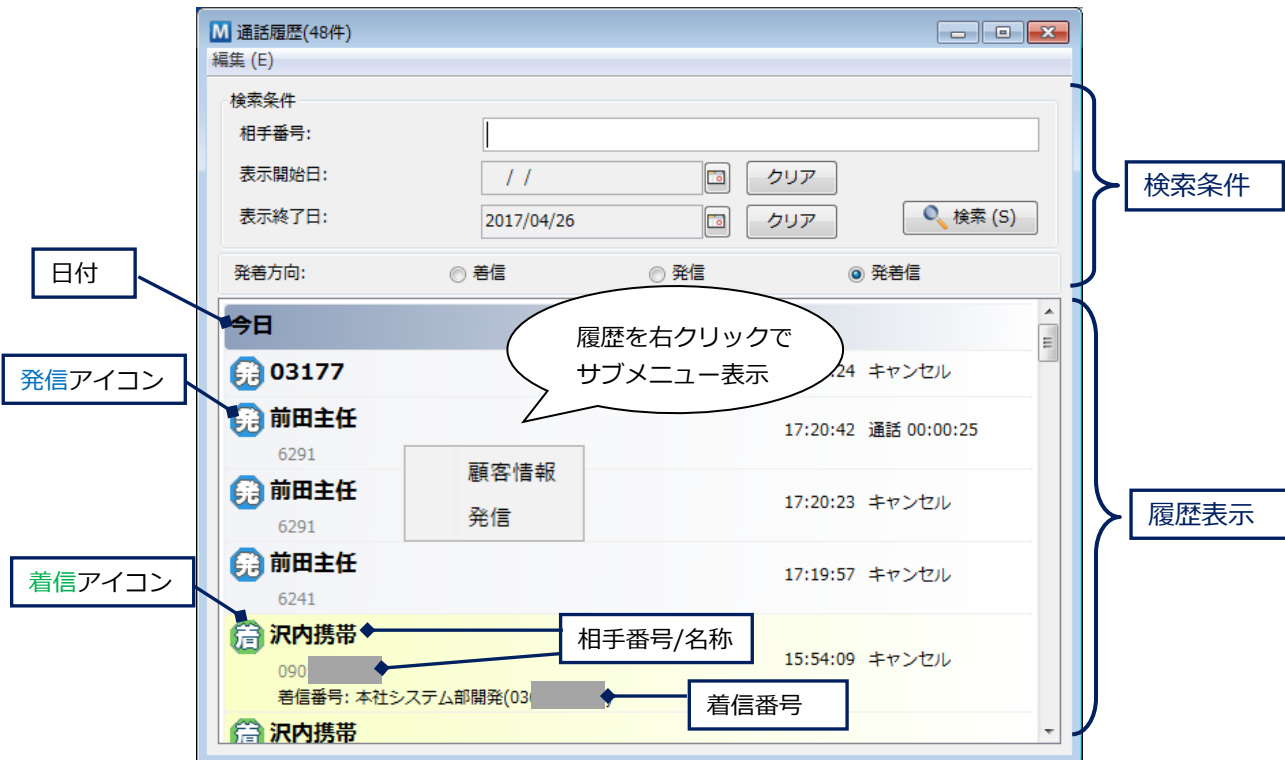
タスクトレイアイコンを右クリックしてメニューを表示し、「通話履歴」の項目をクリックすると、本アプリケーションで行った通話の履歴画面を表示します。

また、MOT/Phoneの「履歴」ボタンをクリックすることで、同じく通話履歴画面を表示させることができます。



9-1. 通話履歴ウィンドウ

当アプリケーションを経由して行った発着信の履歴を表示します。
 相手番号や発着信の方向、表示の開始、終了日により表示する履歴を絞り込むことが可能です。
 履歴をダブルクリックすると、ソフトフォンから発信を行います。
 通話履歴の保存件数は最大で1000件です。



■ 通話履歴項目

項目名称	機能説明
検索条件	
相手番号	入力した番号に対する通話履歴を表示します。(前方一致)
表示開始日	この日以降の通話履歴を表示します。[クリア]ボタンを押すとクリアされます。
表示終了日	この日以前の通話履歴を表示します。[クリア]ボタンを押すとクリアされます。
発着方向	選択された発着信方向の通話履歴を表示します。
履歴表示 (通話履歴はローカルPCに保存されます。)	
日付	通話開始日です。ダブルクリックすると当日の履歴全てを表示/非表示にできます。
履歴エントリ	1 通話分の履歴を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ダブルクリックすると相手番号に発信します。 ・右クリックするとサブメニューが表示され、[顧客情報の表示・登録]および[発信]を行えます。
アイコン	発信または着信の方向を示すアイコンです。
相手番号/名称	通話の相手番号を表示します。 電話帳に登録済の番号の場合は連絡先名称を表示し、下に番号を表示します。
着信番号	着信した外線自局番号、グループ番号を表示します。
開始時刻	通話の開始時刻を表示します。通話を行わなかった場合は発着信を行った時刻を表示します。
通話時間/状態	通話していた時間を表示します。通話を行わなかった場合はその状態を表示します。

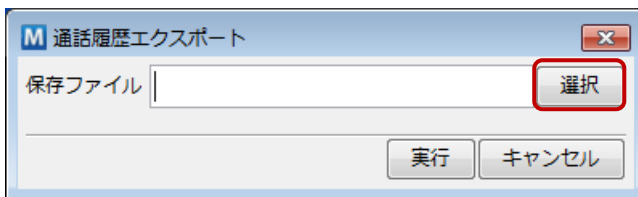
9-2. 通話履歴のエクスポート

通話履歴ウィンドウのツールバーの[編集]-[電話帳エクスポート]より、PC に保存されている全ての通話履歴を CSV ファイルとして保存することが出来ます。

(1) 画面左上の「編集」をクリック後、表示する「通話履歴エクスポート」をクリックします。



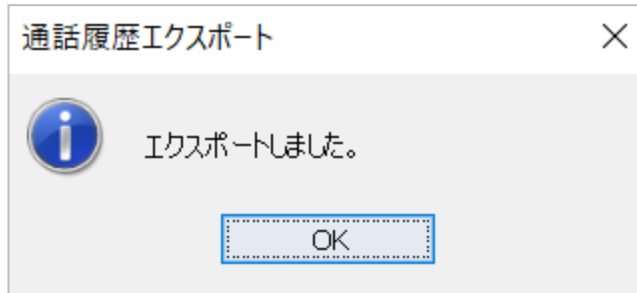
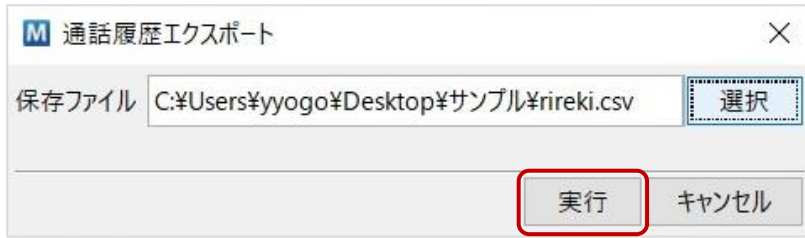
(2) [選択]をクリックし、表示する画面で以下を設定します。



- ① エクスポートするデータの保存先ファイルを選択します。
- ② 保存するファイル名を入力後、[開く]をクリックします。



(3) [実行]をクリックし、エクスポートを実行します。



■出力される CSV ファイルは以下の形式になります。

	A	B	C	D	E
1	通話開始時刻	通話終了時刻	発着方向	相手番号	通話ステータス
2	20171215-103630	20171215-103632	着信	非通知	0:00:02
3	20171215-095045	20171215-095055	着信	080xxxx1234	0:00:10
4	20171212-202912	20171212-202917	着信	090xxxx4321	0:00:05
5	20171212-202809	20171212-202815	着信	03xxxx6789	0:00:05

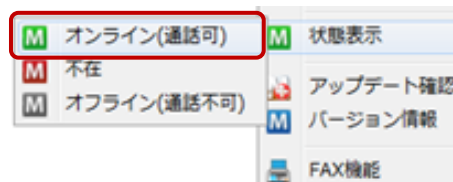
10. 端末登録状態の変更

10-1. 現在の端末登録状態の表示・変更

タスクトレイ上の M アイコンは、利用中アカウントの現在の端末登録状態を示しています。離席時に着信を受けないようにする場合や、その後に再度、通話可能状態にしたい場合など、状態を変更する時には、タスクトレイアイコンを右クリックしてメニューを表示し、**[状態表示]**から表示されるサブメニューをクリックすることで、登録状態を変更することができます。



本アプリケーションの「連動電話機」を「ソフトフォン」で利用している場合は表示されません。端末登録状態の変更はソフトフォンで行います。詳しくはソフトフォンのマニュアルをご参照ください。



項目名称	機能説明
オンライン	端末情報を登録し、通話できる状態にします。
不在	端末情報は消さずに、着信に対して話中応答します。
オフライン	端末登録情報を削除し、着信しないようにします。

11. ソフトウェアの更新

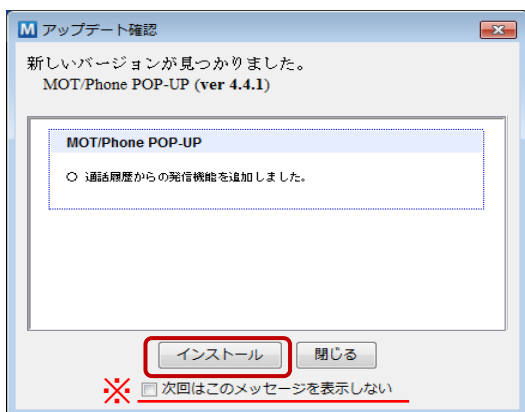
11-1. アップデート確認



タスクトレイアイコンを右クリックしてメニューを表示し、「アップデート確認」の項目をクリックすると、更新用ページに Web アクセスを行い、本アプリケーションの新しいバージョンが公開されていないか確認します。

アップデート確認は、設定によりアプリケーション起動時に自動的に行うこともできます。

11-2. 最新バージョンにアップデート



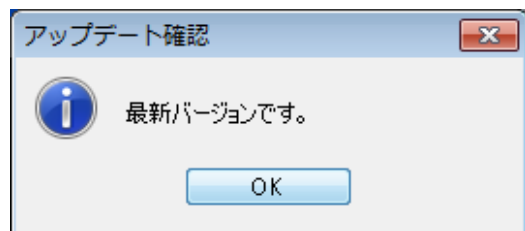
新しい版が見つかった場合、バージョンアップダイアログを開き、更新内容を表示します。

[インストール]を選択すると、最新版をダウンロードして更新を行います。

※「次回はこのメッセージを表示しない」

本項目にチェックを入れると、次回から起動時のアップデート確認を行いません。

再度起動時に確認するようにしたい場合は設定画面の「[基本設定](#)」にて変更してください。



現在のソフトウェアが最新である場合はその旨が表示されます。

12. ソフトウェアのバージョン情報表示

12-1. バージョン情報を表示する



タスクトレイアイコンを右クリックしてメニューを表示し、「バージョン情報」の項目をクリックすると、現在使用中の着信ポップアップソフトウェアのバージョン情報が表示されます。

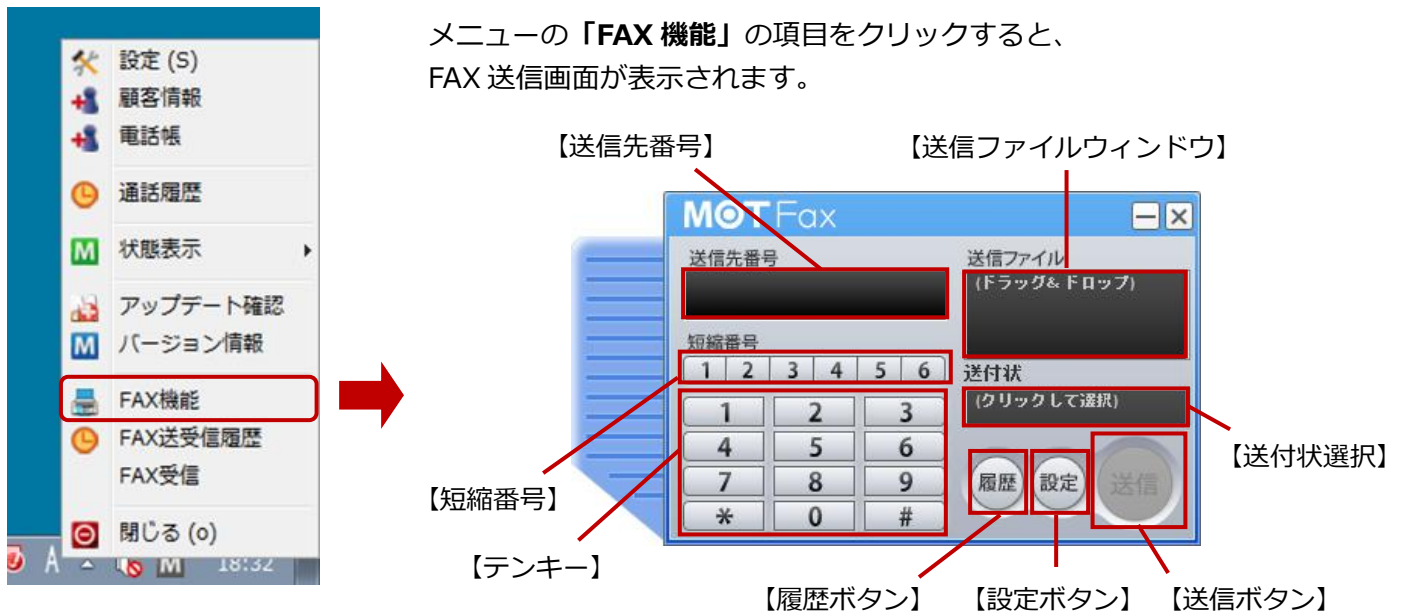


13. FAX 送信機能

MOT/PBX と連携することにより、FAX 専用機を使わず P Cを利用して、一般公衆網内の FAX 機へ FAX 送信を行う事が可能となります。FAX を送信する為には、専用の送信機能からダイヤルを行います。

※FAX 機能の設定が必要となります。
 詳細は「[\[FAX 機能\]タブ](#)」のページをご参照ください。

13-1. FAX 送信ウィンドウの表示



■ 「FAX 送信画面」項目

項目名称	機能説明
送信先番号	FAX の送信先番号を入力します。画面上のテンキー、またはキーボードの数字キーによって入力します。
送信ファイル	FAX 送信するファイルをこの領域にドラッグ&ドロップします。 ※送信できるファイルは、PDF または TIFF 形式のみです。 ※用紙サイズは A4 のみとなります。またカラーFAX は未対応です。
送付状	送信する FAX に添付する送付状を選択します。あらかじめ MOT/PBX に登録した送付状ファイルか、PC 内の PDF または TIFF 形式ファイルを指定できます。
短縮番号	ボタン毎に登録した番号を、ワンクリックで送信先番号欄に設定します。
テンキー	テンキーを利用して FAX 送信先番号を入力する場合に使用します。
履歴ボタン	FAX 送信履歴を表示します。履歴から送信先番号を選択することができます。
設定ボタン	設定画面 を表示します。
送信ボタン	入力した FAX 番号に対してファイルを送信します。

- ①FAX 機能を利用するには、MOT/PBX + 送信用アカウントが必要です。
- ②ひかり電話の契約（FAX 専用番号を最低 1 個用意）が必要です。
- ③送信可能なファイルは PDF または TIFF 形式のみです。
- ④送信可能なファイルサイズは 3Mbyte 迄、用紙サイズは A 4 のみとなります。



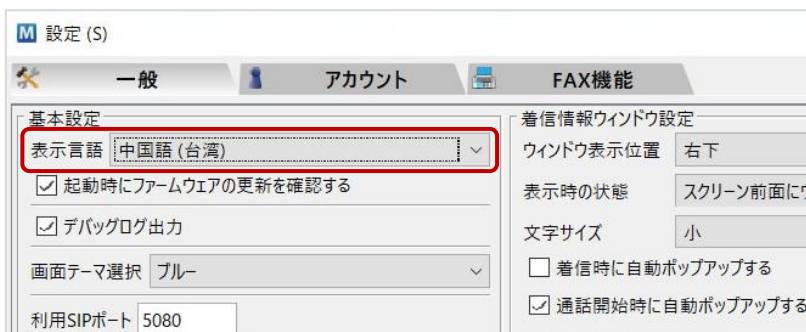
送信用の PDF ファイルに、「埋め込みサブセット」で無いフォントが使用されている場合、MOT/FAX 送信時にフォントが変わる場合があります。

この場合、PDF ファイル作成時にフォント埋め込み指定を「全てのフォント」にする等して作成して下さい。



- [設定]- [一般]タブの表示言語で「中国語（台湾）」を選択している場合は、FAX 送信画面も「中国語（台湾）」でご利用いただけます。

<設定画面>



<メニュー>



<FAX 送信画面>



13-2. 送信先 FAX 番号の入力方法

FAX を送信する際は、送信先番号欄に相手の FAX 番号を入力します。

■FAX 番号の入力方法は、以下 4 つございます。

1) テンキーによるダイヤル

テンキーを押すことで、「送信先番号」に押した番号が入力されます。



2) 短縮番号によるダイヤル

短縮番号ボタンにあらかじめ番号を登録しておくこと、ワンクリックで自動的に「送信先番号」へ番号を入力することができます（詳細は「[FAX の短縮番号を登録する](#)」ページをご参照ください）。



3) 送信履歴クリックによるダイヤル

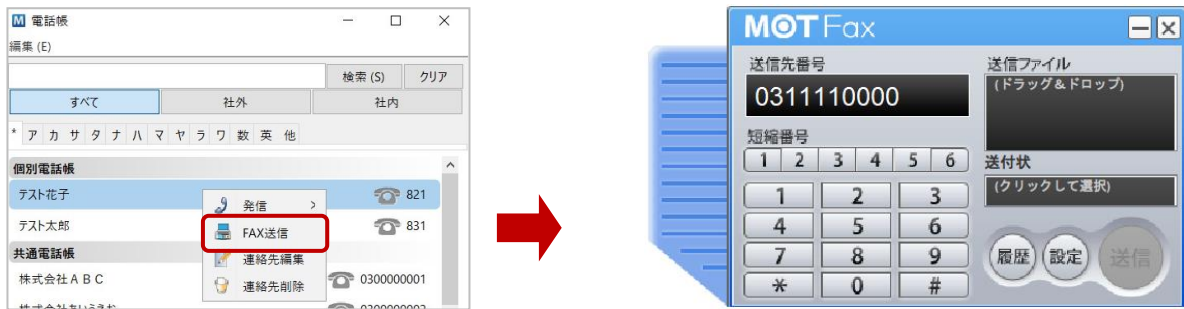
「履歴」ボタンを押すと、送信履歴が表示されます。

送信履歴をクリックする事で、「送信先番号」へクリックした番号が入力されます（詳細は「[履歴から FAX を送信する](#)」ページをご参照ください）。



4) 電話帳からダイアル

電話帳から宛先を選択し、右クリックで表示される「FAX 送信」を選択すると、FAX 送信ウィンドウが表示されます。



- 電話帳の「FAX 番号」に登録されている場合、「送信先番号」に FAX 番号入力された状態で、FAX 送信ウィンドウを表示します。
- 電話帳の「FAX 番号」に登録されていない場合は、「送信先番号」には何も表示されていない状態で、FAX 送信ウィンドウを表示します。

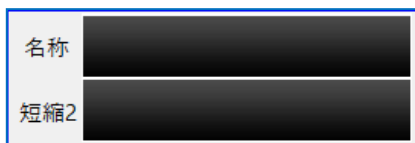
以上、いずれかの方法で FAX 番号を入力後、「送信」ボタンを押すと「送信先番号」に表示されている番号へ FAX を送信します。

13-3. FAX の短縮番号を登録する

以下の手順で、短縮番号ボタンに番号を登録します。



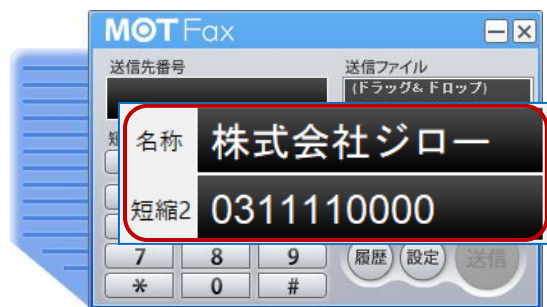
設定ウィンドウ



①短縮番号の設定

登録したい短縮番号を右クリックすると、設定ウィンドウが表示されます。

※番号が登録されていない短縮番号の場合は左クリックでも設定ウィンドウが表示されます。



②名称と番号を入力し、

Enter キーを押すか設定ウィンドウ外をクリックすると、入力値を保存して設定ウィンドウを閉じます。



③短縮番号を登録済みのボタンにマウスカーソルを当てると、登録した[名称]が表示されます。

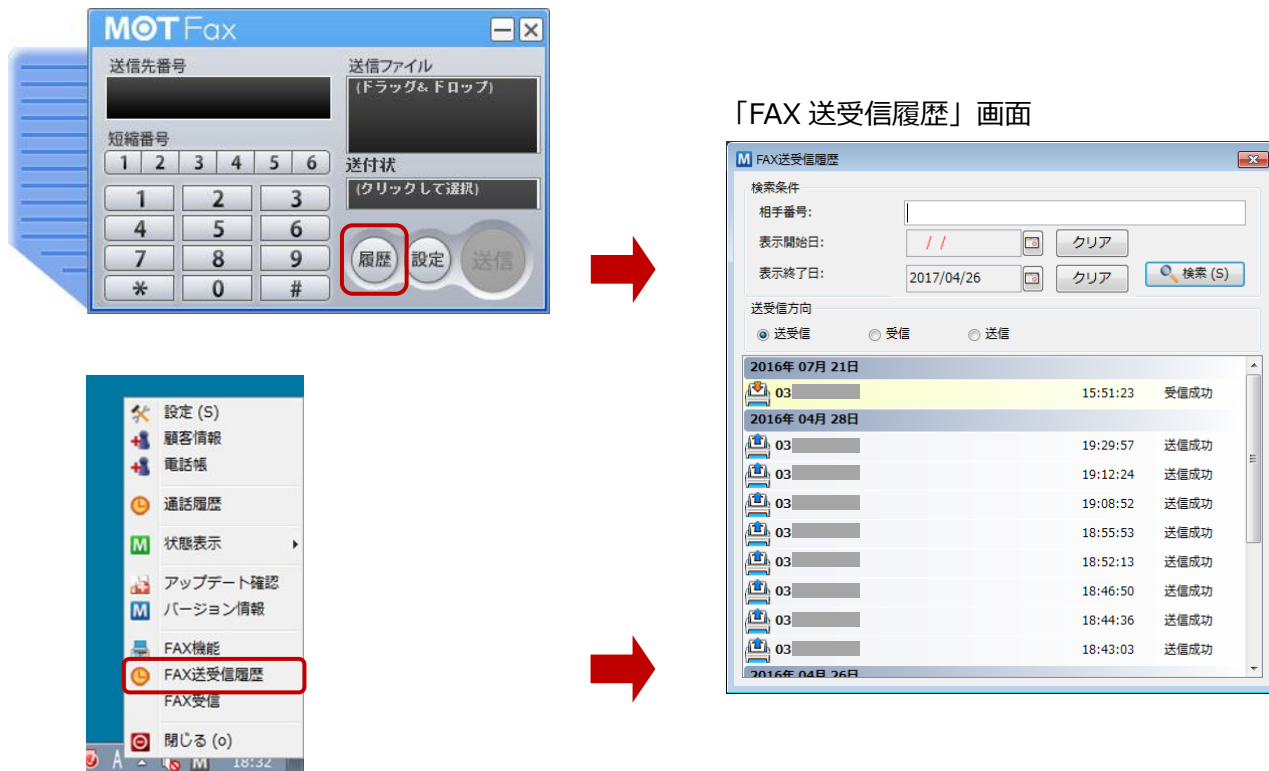


短縮番号のボタンをクリックすると、

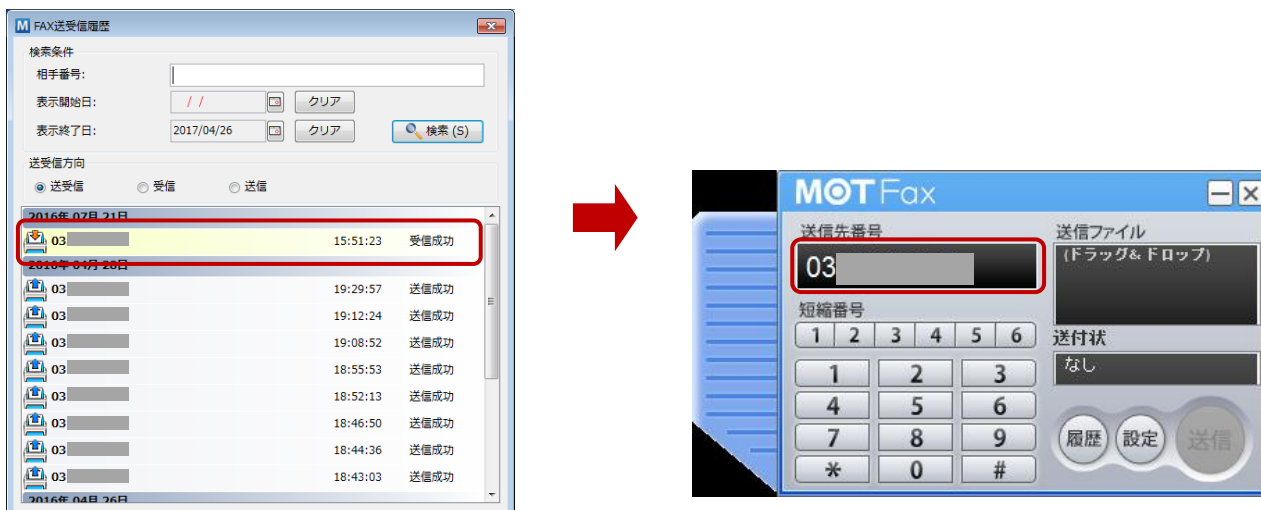
設定番号が[送信先番号]欄に設定された状態になります。

13-4. 履歴から FAX を送信する

①タスクトレイアイコンを右クリックして表示されるメニューの「FAX 送受信履歴」、または FAX 送信画面の[履歴]ボタンを押すと、「FAX 送受信履歴」画面が表示されます。



②送受信履歴の番号をクリックすると、FAX 送信画面の[送信先番号]に設定することができます。



※ 「FAX 送受信履歴」画面の詳細は、「[FAX 送受信履歴](#)」ページをご参照ください。

13-5. FAX 送付状を添付する

事前に MOT/PBX に登録した送付状一覧から選択したファイル、もしくは PC 内のファイルを、FAX 送付状として送信ファイルに添付することができます。



- ① 送付状選択画面の表示
[送付状]の欄をクリックして、選択画面を表示します。



- ② 送付状の選択
添付する送付状を「PBX 内の送付状利用」「ファイル添付」のどちらかを選択して、送付状を選択後、[設定]ボタンを押すと、[送付状]の欄に、選択した送付状の情報が表示されます。
送付状が不要な場合は「なし」を選択します。

項目名称	機能説明
送付状の選択	添付する送付状の種別を選択します。
なし	送付状を添付せずに送信します。[送付状]欄には「なし」と表示されます。
PBX 内の送付状利用	MOT/PBX に登録された送付状ファイルを添付します。 登録済みファイル一覧が表示されますので、添付する送付状を選択し、[設定]ボタンを押します。 [送付状]欄にはファイル名が表示されます。 ※MOT/TEL は、「PBX 内の送付状利用」はご利用いただけません。
ファイル添付	PC 内の PDF または TIFF ファイルを送付状として添付します。 送付状ファイルをウィンドウ上にドラッグ&ドロップし、[設定]ボタンを押します。 [送付状]欄にはファイルのパスが表示されます。

13-6. FAX を送信する

①[送信先番号]に、送信相手の FAX 番号を入力します。

※FAX 番号の入力方法は複数ございます。

詳細は、「[送信先 FAX 番号の入力方法](#)」ページをご参照ください。



②[送信ファイル]に、FAX 送信する PDF ファイル、もしくは TIFF ファイルをドラッグアンドドロップします（ファイルパスが表示されます。）

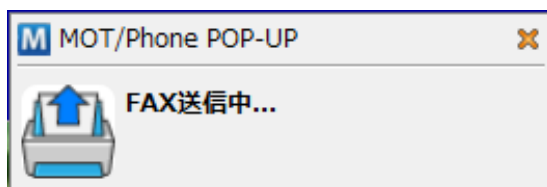


③[送信]ボタンを押すと、入力した送信先番号に対してファイルを FAX 送信します。

※[送信先番号]と[送信ファイル]が設定されると、[送信]ボタンが有効になります。

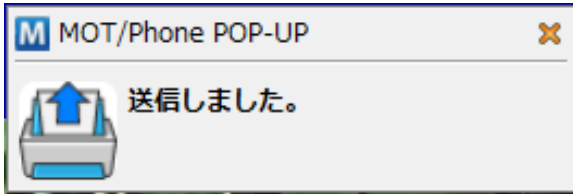


④送信を実行すると、[送信中]メッセージが画面右下にポップアップします。

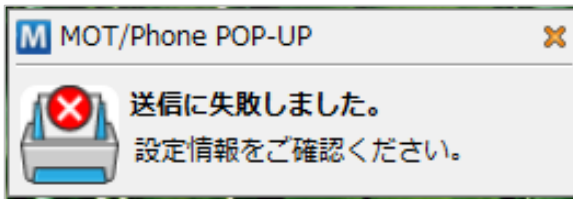


⑤処理完了後、送信結果が再度ポップアップします。

<成功の場合>



<失敗の場合>



FAX 送信の通信経路は、以下となります。

PC ⇒ メールサーバ ⇒ PBX (MOT/TEL の場合は、外線アダプタ) ⇒ FAX 送信相手

通信の不具合やエラーが発生したタイミングにより、送信失敗の通知が出ない場合や、MOT/PBX のユーザ管理画面や MOT/Cloud の通話履歴に履歴が反映されない場合がございます。

- ・ PC ⇒メールサーバ間で、アカウントが間違っている場合やセキュリティでブロックされたなどの問題で送信されなかった場合は、送信失敗の通知が出ますが、通話履歴に履歴が残りません。
- ・ メールサーバ ⇒ PBX (外線アダプタ) 間で、通信や PBX (外線アダプタ) 内の不具合にて送信されなかった場合は、送信失敗の通知が出ず、通話履歴にも履歴が残りません。

※PBX (外線アダプタ) に通信が到達し、FAX 送信相手に送信したデータに関しては、送信成功/失敗の通信が表示され、通話履歴にも履歴が残ります。

14. FAX 受信機能

各種 MOT/PBX と連携することにより、FAX 専用機を使わずにメール、もしくは本ポップアップで FAX データを受信することが出来ます。

※カラーFAX は未対応です。

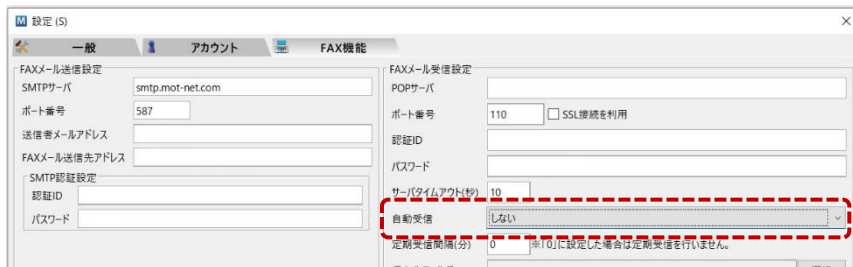
■ポップアップが提供する FAX 受信機能は以下です。

1) FAX 受信時の通知

2) FAX データを受信

- ・ 手動受信・・・ポップアップ通知時に都度手動で取得します。
手動で受信しているデータを一括で PC 側に取得します。
- ・ 自動受信・・・自動的に受信した FAX データを PC 側に取得します。

■ [FAX 機能の設定](#)で、「自動受信」の設定が「する」「しない」どちらかによって、動作が異なります。



14-1. 自動受信を「する」でご利用の場合

[FAX 機能の設定](#)にて、「自動受信」の設定を「する」にしている場合、FAX を自動受信・ダウンロードを行います。※アプリケーション起動時にも同様に、自動受信・ダウンロードを行います。

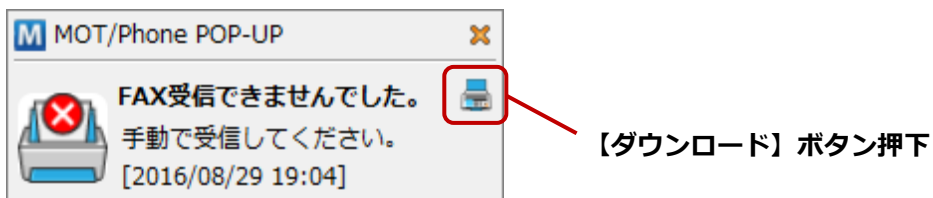
① FAX 受信時に、自動的にファイルをダウンロードします。

ダウンロード完了後、受信の通知メッセージが画面右下にポップアップします。



通常は、自動で受信・ダウンロードを行います。FAX メールの遅延により、以下のように「FAX 受信できませんでした」と表示される場合があります。

その際は[ダウンロード]ボタンを押して、再度 FAX メールを取得してください。

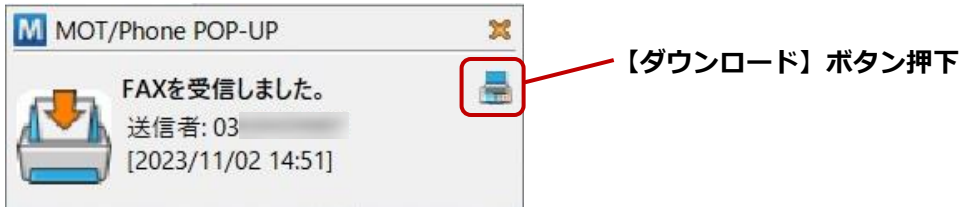


14-2. 自動受信を「しない」でご利用の場合

[FAX 機能の設定](#)にて、「**自動受信**」の設定を「**しない**」にしている場合、手動でダウンロードを行います。

① FAX 受信時には受信通知メッセージがポップアップします。

メッセージ内の**[ダウンロード]ボタン**をクリックして、POP サーバから FAX メールをダウンロードすると、所定の保存先フォルダに保存します。



保存先フォルダが設定されていない場合はダウンロードボタンが表示されません。
保存先フォルダが未設定の場合は、設定後に、「[FAXの手動受信](#)」ページに記載の手順で FAX の手動受信を行い、FAX メールを取得してください。



[ダウンロード]ボタンを押すと、
FAX メールをダウンロードします。

② 処理完了後、受信結果が再度ポップアップします。

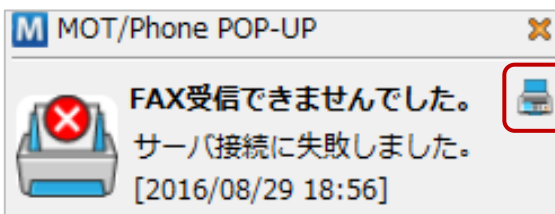
<成功の場合>



<失敗の場合>

受信に失敗した場合は、以下の失敗通知が表示されます。

失敗した場合は、再度**[ダウンロード]ボタン**を押してください。



FAX メールの遅延により、「受信 FAX がありません」となる場合があります。
この場合、「[FAXの手動受信](#)」ページに記載の手順で FAX の手動受信を行い、再度 FAX メールを取得してください。

14-3. FAX の手動受信

[FAX 機能の設定](#)にて、「自動受信」の設定が「する」「しない」に限らず、FAX を手動受信することで、サーバに蓄積している FAX データを強制的に取得することができます。

- ① タスクトレイの M アイコンを右クリックし、表示メニューから「**FAX 受信**」をクリックします。



- ② FAX メールをダウンロードします。
処理完了後、受信結果がポップアップします。



手動受信した結果、FAX がない場合は、以下のメッセージを表示します。

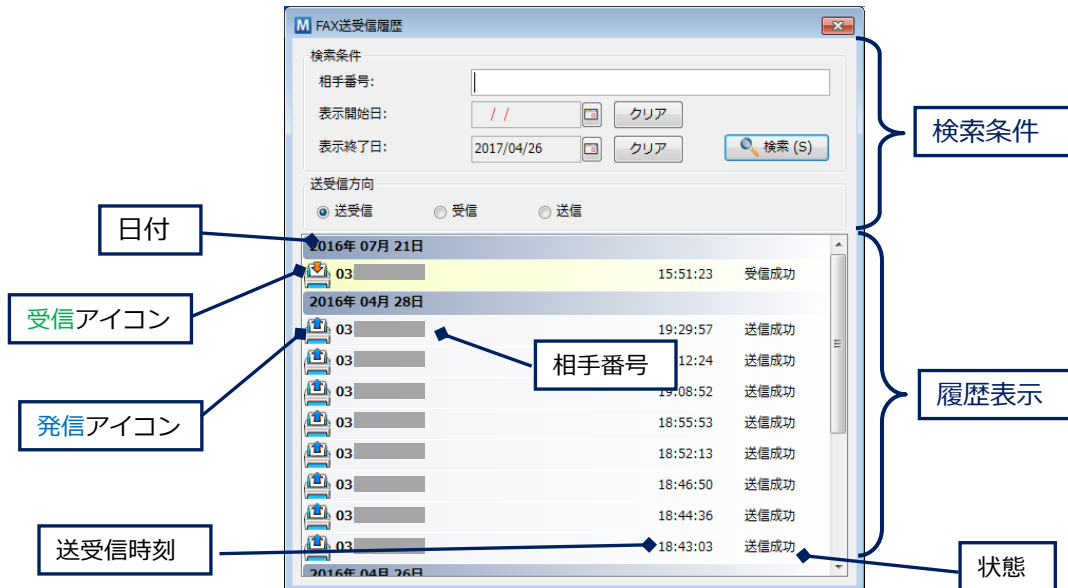


15. FAX 送受信履歴



タスクトレイアイコンを右クリックしてメニューを表示し、「FAX 送受信履歴」の項目をクリックすると、「FAX 送受信履歴ウィンドウ」を表示します。「FAX 送受信履歴ウィンドウ」では、FAX 送受信の通話履歴を 60 件まで一覧表示します。

「FAX 送受信履歴ウィンドウ」は相手番号や送受信の方向、表示日により表示する履歴を絞り込むことが可能です。また、履歴をダブルクリックすると、送信または受信したファイルを表示します。



項目名称	機能説明
検索条件	
相手番号	入力した番号に対する送受信履歴を表示します。(前方一致)
表示開始日	この日以降の送受信履歴を表示します。[クリア]ボタンを押すとクリアされます。
表示終了日	この日以前の送受信履歴を表示します。[クリア]ボタンを押すとクリアされます。
送受信方向	選択された方向の送受信履歴を表示します。
履歴表示 (履歴はローカルPCに保存されます)	
日付	送受信日です。ダブルクリックすると当日の履歴全てを表示/非表示にできます。
履歴	FAX1 通分の履歴です。ダブルクリックすると送受信したファイルを表示します。 ※ただし、送信したファイルの削除、ファイル名の変更、送信時とは別の場所に保存 (送信後に保存先を移動した) など、送信時と変更されている場合は、ファイルを開くことができません。
アイコン	送信または受信の方向を示すアイコンです。
相手番号	FAX の送受信先である相手番号を表示します。
送受信時刻	送受信の開始時刻を表示します。
状態	FAX 送受信の結果を表示します。

16. 仕様

電話機能	
接続先	MOT/Phone Windows 版、NAKAYO ST101A、ST101B、ST101C SAXA IP-NetPhone SX、SAXA IP-NetPhone SX II
アドレス設定	電話機 SAXA IP-NetPhone または NAKAYO ST101A を利用する場合は、PC に固定アドレスを付与する必要があります。
利用番号数	2 アカウント迄（手動切り替え方式）
NAT 下での利用	可能（STUN 機能+MOT/PBX 側の NAT ヘルパー利用）
通話履歴件数	200 件×5 ファイル
音声制御機能	未対応（上位端末にて RTP セッションを直接張る）
呼制御プロトコル（SIP）	RFC3261 ベースの独自仕様（サーバ側として MOT/PBX 以外の接続不可） MOT/PBX と接続する電話クライアントのセッション中継処理
FAX 機能	
送受信履歴件数	20 件×3 ファイル

MOT/Phone POP-UP 操作・設定ガイド

2024年 8月30日 第1.56版

株式会社バルテック